HD26 GT1080 取扱説明書 目次

目次 1
使用法..2
安全情報 10
事前注意 11
目の安全に関する警告 14
はじめに..15
パッケージの概要 15
製品の各部名称.................................16
本体.. 16
キーパッド... 17
入/出力 接続端子................................ 18
リモコン... 19
設置方法 20
プロジェクタへの接続........................20
コンピュータ / ノート パソコンへの接続..20
ビデオソースの接続 21
3D ビデオデバイスへの接続.............22
3D眼鏡の使用 24
プロジェクタの電源オン/オフ 25
プロジェクタの電源オン...................... 25
プロジェクタの電源を切る 26
警告インジケータ 27
投射画像の調整................................28
プロジェクタの高さを調整する 28
プロジェクタのズーム/フォーカスを調整する.. 29
プロジェクタの画面サイズの調整 29
ユーザー管理..................................31
キーパッドおよびリモコン.................31
キーパッド.. 31
リモコン... 32
オンスクリーンディスプレーメニュー .39
操作方法 39
メニュー ツリー(階層)...................... 40
イメージ... 42
イメージ | 詳細 44
ディスプレー....................................... 46
ディスプレー | 3D 48
設定.. 49
設定 | 音声設定 51
設定 | セキュリティ 52
設定 | 詳細 53
オプション 54
オプション | ランプ設定 57
オプション | HDMI Link連結動作設定.. 58
オプション | リモート設定 60
オプション | 詳細 61
付録 62
トラブルシューティング......................62
画像の問題... 62
その他の問題 64
リモコンの問題................................... 64
LED 点灯メッセージ........................... 65
オンスクリーン メッセージ................. 66
ランプの交換 67
互換モード..70
天井への取り付け..............................72
Optoma社グローバルオフィス 73
規制と安全に関する通知 75
FCC通告 75
EU諸国への適合宣言 76
保証書..76

HDGT15Y06

ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

⚠警告	⚠注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。

例） 「感電注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為（やってはいけないこと）を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

注意 ⚠

禁止

本製品は以下のようなところ（環境）で使用および保管をしないでください。
故障の原因となることがあります。

- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）
- 湿気が多いところやホコリが多いところ
- 直射日光があたるところ
- 温湿度差の激しいところ
- 水気の多いところ（台所、浴室、水辺、海岸など）
- 腐食性ガス、油煙の中
- 静電気の影響が強いところ
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーター、コンロなど）
- 強い磁力電波の影響を受けるところ（磁石、ディスプレイ、スピーカなどの近く）
- 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所

禁止

本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えない
- 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない

厳守

ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下などに配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、接触不良などの原因になります。

厳守

ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼし電波傷害をひきおこすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声が乱れたり、画像が乱れたりする場合があります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。
- コンセントを別に分けてください。

使用法

厳守	長時間に渡って映像をみるばあいは一定の間隔で休憩をとってください。また部屋を真っ暗にすると目に疲労が蓄積されますので部屋を適度に明るくしてご覧ください。
禁止	排気ファン動作中は電源ケーブルを抜かないでください。冷却ファンの回転音が止まり、主電源をオフにしてから電源ケーブルを抜いてください。
禁止	ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。破損する恐れがあります。
厳守	ご使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。ランプモジュールの交換はご使用後1時間程度放置し、余熱が完全に取れてから行ってください。やけどの恐れがあります。
厳守	ランプモジュールを落とさないようご注意ください。ガラスが散り、けがをする恐れがあります。
禁止	指定の電池(単4型乾電池)以外は使用しないでください。指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。
厳守	電池を使い終ったときや、長時間使用しない時は取り出してください。 電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。
厳守	取り付け時には、極性に十分注意して取り付けてください。(電池には+極と−極があります。)故障の原因となります。
注意	本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

警告 ⚠

厳守	煙がでている、へんなにおいがする、へんな音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。
水濡れ禁止	本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。
厳守	本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。
禁止	本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気孔(レンズに向かって右側面と、背面)に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。
禁止	本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。 火災の原因となることがあります。
厳守	温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。
分解禁止	改造・分解はしないでください。お客様により修理は行なわないでください。 火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
禁止	本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。特に通風孔には異物がはいらないよう注意してください。
禁止	ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
禁止	使用中はレンズをのぞかないでください。 レンズからは非常に強い光が発せられていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

禁止

本製品は下記のようなところで使用しないでください。
故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。

- ほこりの多いところ
- 振動や衝撃の加わるところ
- 不安定なところ
- 通気孔(レンズに向かって右側面と、背面)がふさがるとこ
- 温度差の激しいところ
- 水分や湿気の多いところ
- 温度が高いところ

禁止

使用中や使用後は排気孔(レンズのある面)およびその回り、設置台が熱くなります。
やけどの原因になりますので、触らないでください。

厳守

ランプモジュールを交換するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となります。

禁止

ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。

- 引っ張ったり、折り曲げたりしない
- 圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない
- 加工しない
- 熱器具のそばで使わない

厳守

電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根本までしっかりさしてください。根本までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。

厳守

電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行なってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で行なわないで下さい。濡れた手で行うと感電の原因になります。

禁止

電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。

- 電池の液が目にはいったり、体や皮膚につくと失明やけ　が、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
- 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがが症状があるときは、医師に相談してください。

厳守

電池は小さなこどもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因になります。万一、飲みこんだときは、ただちに医師に相談してください。

禁止

(＋)(－)を金属類で短絡させないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

厳守

電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。

禁止

電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。
液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。

厳守

注意

発火注意

電源ケーブルを取り扱つかうときは以下のことにご注意ください。

- 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください
- 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。
-
濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となります。
- 電源ケーブルのプラグは根本までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。

厳守

本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカ ーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

設置場所について

本プロジェクタは190Wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

- 風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通風孔（レンズに向かって右側面と背面）をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
- 高温になる場所には設置しないでください。直射日光にあたる場所や、熱器具（ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど）の近くに設置しないでください。
- 屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計されてません。故障の原因になります。
- 設置場所の強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを充分に注意し、安全に設置してください。
- 油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
- 振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

見る場所について

- 画面との距離を適度にとってご覧ください。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度な明るさの中でご覧ください。長時間見るときは適度に休憩をしてください。

お手入れについて

- レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
- 水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
- 清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

廃棄について

廃棄するときは、地方自治体が定める条例にしたがってください。

ランプの寿命について

● 本製品で使用しているランプモジュールには寿命があります。
標準約5,000時間になります。交換時期になると警告メッセージが画面内に表示されます。ランプ交換のページの方法に従い、ランプモジュールを交換してください。
● ランプは消耗品扱いです。
● ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるもので、この限りではない場合があります。あらかじめご了承ください。
● ランプの寿命について
ランプは個々の特性により、大きく差がございます。また、ご使用条件、環境、使用経過による劣化などにより、大きく寿命が異なる場合があります。予め交換用ランプを準備しておく事をお奨めいたします。

その他注意事項

● 保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管して下さい。
● 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
● 持ち運びするときは、付属のソフトケースに入れて衝撃をあたえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
● レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、たたいたりしないでください。また、強い圧力をレンズおよび周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
● やむを得ず宅配便などで郵送する際は、オプションの専用ハードケースを利用するか、購入時のダンボールとクッションをお使いすることをおすすめします。
● Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000、Windous XP、Windows VISTAは米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
● 本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断りいたします。
● 本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(
VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

HDGT15Y06

安全情報

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模 で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス(修理点検法など)に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

警告: 火災および感電の恐れがあるため、本機器を雨や湿気にさらさないでください。筐体内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。開けるときは、専門技術者にご依頼ください。

クラスB放出限度

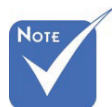
当クラスＢデジタル機器はカナダ電波障害発生機器規約の全ての条件を満たしています。

安全に関するご注意

1. 通気孔を塞がないでください。プロジェクタを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。 飲み物等が置かれたコーヒーテーブルや、ソファ、ベッドにプロジェクタを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
2. プロジェクタは、水気や湿気のあるところで使用しないでください。火事や感電のリスクがありますので、プロジェクタを雨や湿気にさらさないでください。
3. ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器(アンプを含む)など、熱源のそばに設置しないでください。
4. 乾いた布で拭いてください。
5. メーカー指定の付属品/アクセサリーのみをご使用ください。
6. 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです（ただしこれらに限定されません）:
   - 装置を落とした。
   - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
   - プロジェクタに液体をこぼした。
   - プロジェクタを、雨や湿気にさらしてしまった。
   - プロジェクタ内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。

   お客様自身でこのプロジェクタを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma 社グローバルオフィスにお電話ください。
7. プロジェクタ内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
8. 安全に関係するマーキングについては、プロジェクタの筐体をご覧ください。
9. 本機の修理は、適切なサービススタッフだけに依頼してください。

事前注意

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

❖ ランプが寿命に達すると、ランプモジュールを交換するまでプロジェクタの電源は入りません。「ランプの交換」(67～69ページ) に記載の手順に従ってランプを交換してください。

- 警告- ランプ点灯中は、プロジェクタレンズをのぞいてはいけません。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。
- 警告- 火災や感電の原因となるため、本プロジェクタを雨や湿気にさらさないようにしてください。
- 警告- プロジェクタのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- 警告- ランプを交換する際は、ユニットの熱が冷めるまでお待ちください。67～69ページに記載の手順に従ってください。
- 警告- 本プロジェクタは、ランプの寿命を自動的に検知します。警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。
- 警告- ランプ モジュールを交換した場合は、オン スクリーン表示の [オプション|ランプ設定] にある [ランプリセット] 機能を使用してリセットします (57ページ参照) 。
- 警告- プロジェクタの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクタは、少なくとも90秒間、放熱させてください。
- 警告- プロジェクタの動作中に、レンズキャップを取り付けないでください。（GT1080のみ）
- 警告- ランプの寿命が近づくと、「ランプの寿命が過ぎています。」というメッセージが画面上に表示されます。できるだけ速やかに、最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。

推奨事項：

- ❖ 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ❖ ディスプレーの筐体を洗浄する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。
- ❖ 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項：

- ❖ 本体の通気用のスロットや開口部を塞がないでください。
- ❖ 当機器を研磨剤、ワックス、溶剤で洗浄しないでください。
- ❖ 以下のような環境下では使用しないでください:
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    - ▶ 室温が 5°C～40°C の範囲に保たれていることを確認します
    - ▶ 相対湿度は10%～85%の範囲です
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
  - 直射日光の当たる場所。

3D機能を用いて3Dプロジェクタを見る

重要な安全情報。ご自身で、又はお子様が3D機能を使用される前に、以下の警告をお読みください。

警告

- ❖ 幼児及び10代の方は3D鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は十分にご注意ください。

光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- ❖ プロジェクタの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合又はてんかんや発作の家族歴がある場合、3D機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- ❖ てんかんや発作の個人歴又は家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。

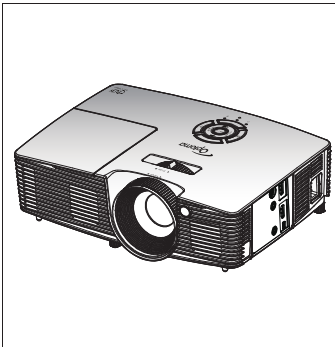
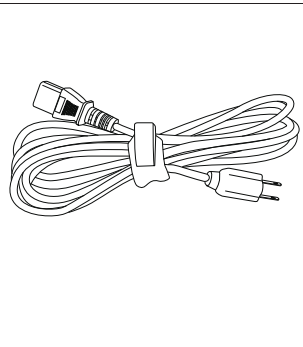
- 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の3D機能のご使用はお控えください。
- 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに3D画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください: (1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4)眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5)混乱状態、(6)吐き気、(7) 意識喪失、(8)痙攣、(9)急激な腹痛、及び（又は）(10) 見当識障害。幼児及び10代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。ご両親はお子様を監督され、これらの症状が出ていないかお尋ねください。
- 3D投射の鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、又は上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止いただき、症状が落ち着いてから最低30分はご使用をお控えください。
- 長時間、かなり画面の近くに座って 3D 投射を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低3倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- 3D眼鏡をかけながらの長時間にわたる3D映像の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D投射の鑑賞を中止し、休憩してください。
- 3D投射の鑑賞以外の目的での3D眼鏡のご使用はお止めください。その他目的（通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど）のための3D眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、視力の低下をもたらす恐れがあります。
- 3D投射の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に3Dプロジェクタを設置しないでください。

目の安全に関する警告

- 常にプロジェクタの光線をまっすぐ見つめたり、光線の方角に直接向くことは避けてください。できる限り光線には背を向けるようにしてください。
- プロジェクタを教室で使用する際に、画面上の何かを指し示すことを学生に求める場合は、適切に指導してください。
- ランプの消費電力を最小限に抑えるために、部屋のブラインドを下ろして周辺光のレベルを下げてください。

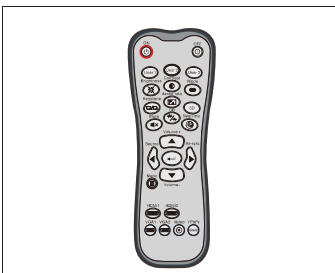
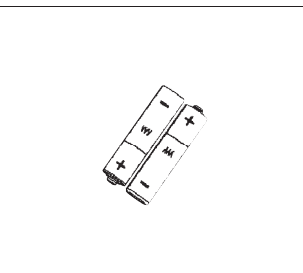
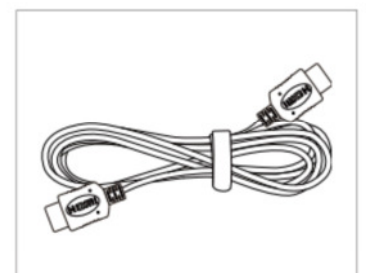
パッケージの概要

箱を開け、中身をよく確認し、以下の付属品がすべて入っているかどうかお確かめください。万が一不足品がある場合は、Optoma社グローバルオフィス(P73)までお問合せください。

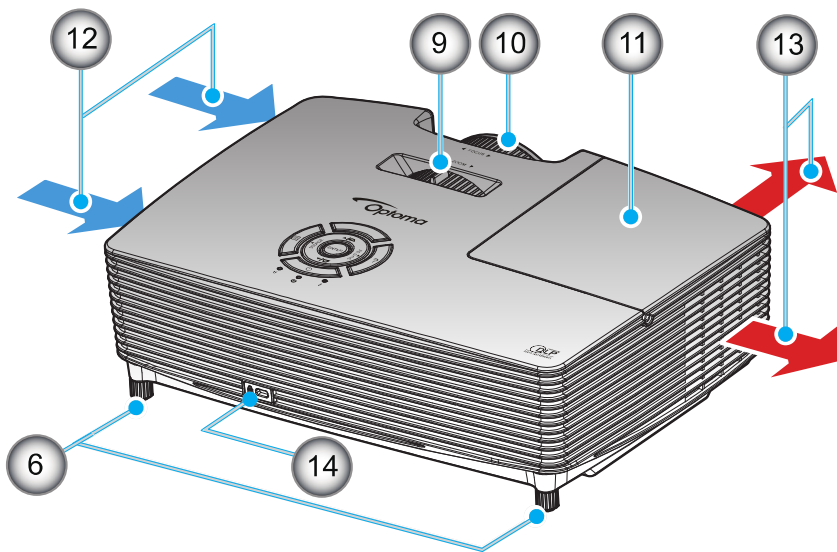
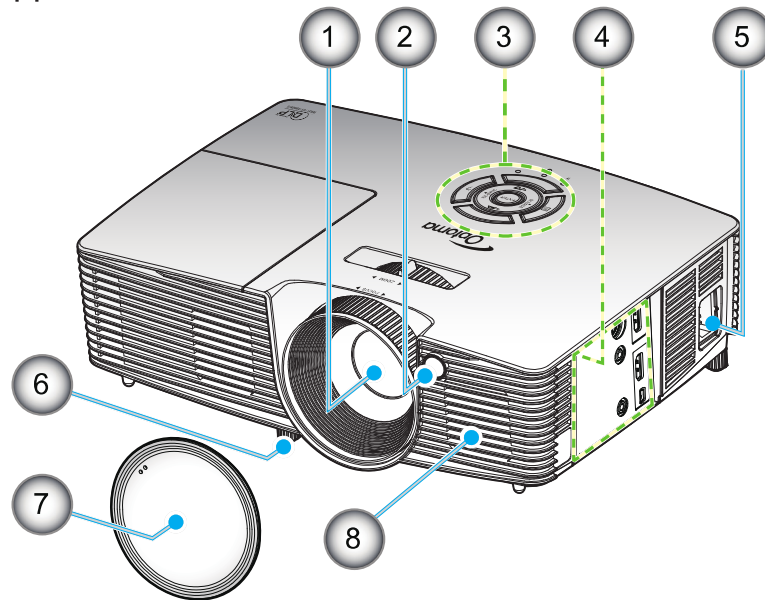
標準アクセサリ

プロジェクタ

電源ケーブル

☑ 取扱説明書（保証書付き）

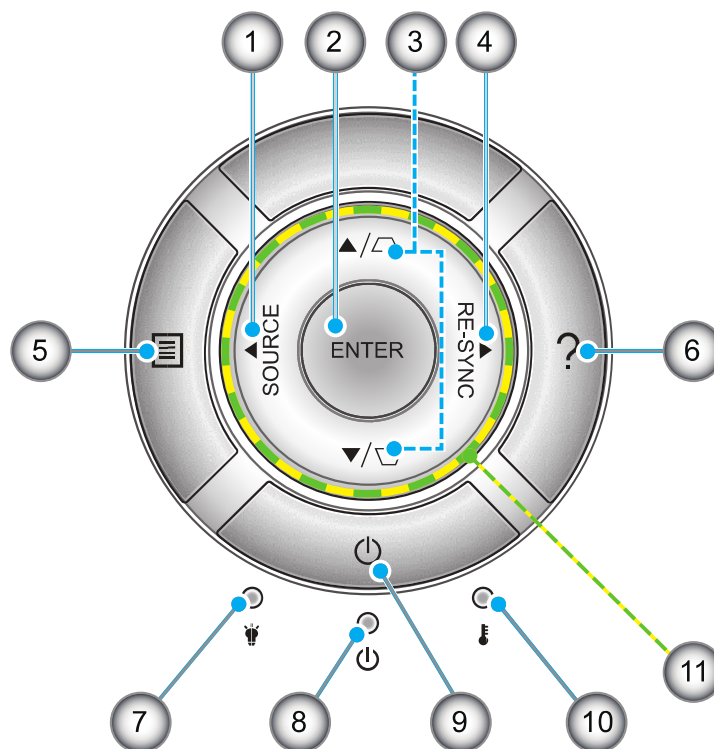
☑ クイック スタート カード

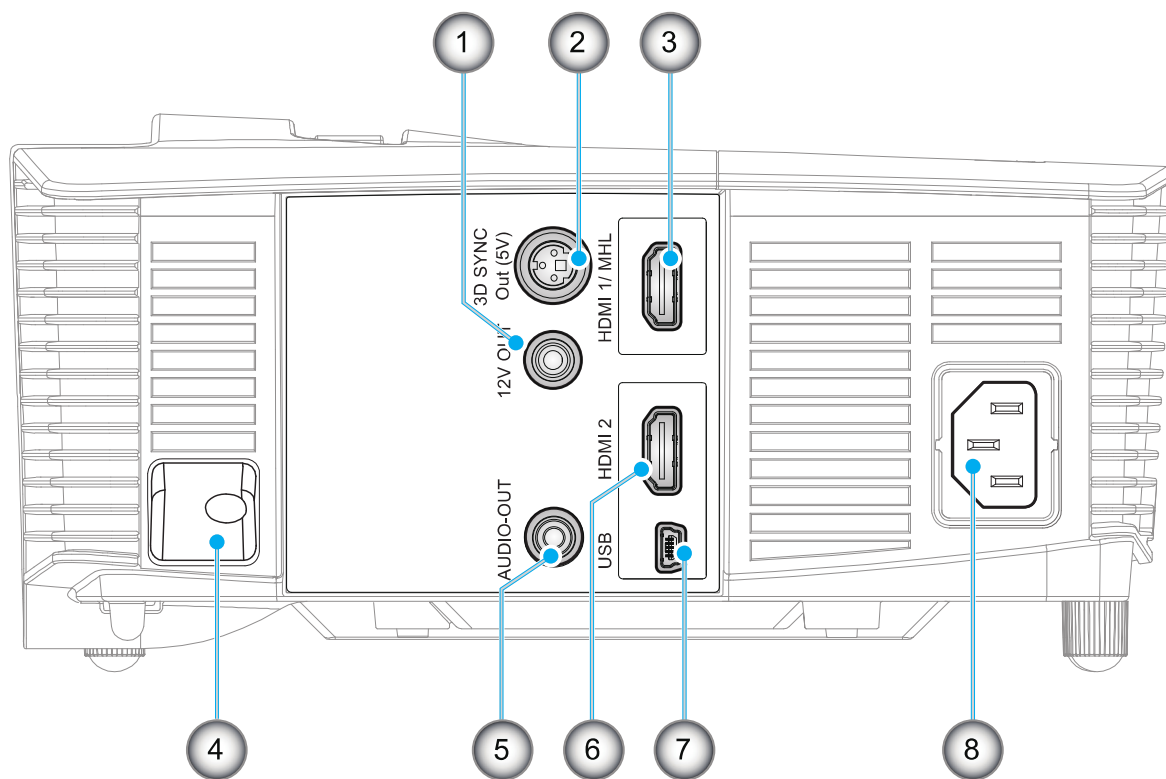
文書

リモート

単4電池（本）

HDMI ケーブル

製品の各部名称

本体

❖ プロジェクタの換気口 (吸気/排気) を塞がないでください。

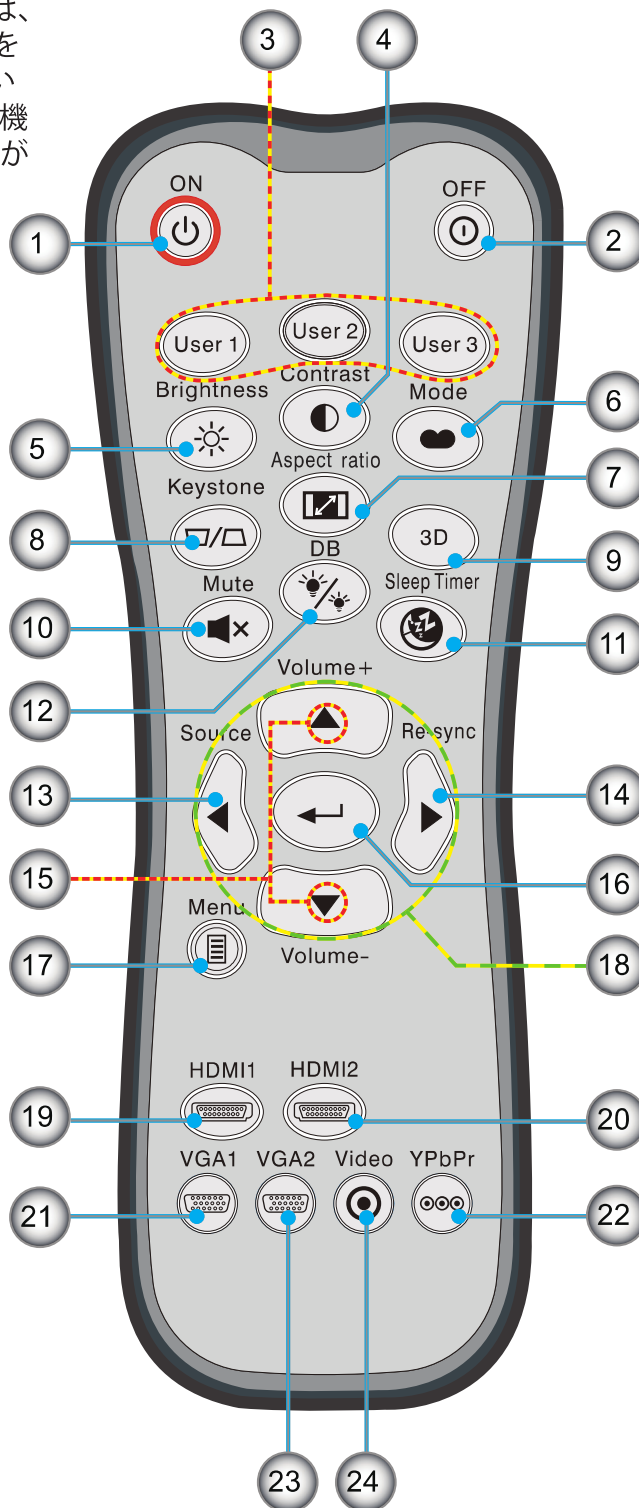
1. レンズ
2. 赤外線レシーバー
3. キーパッド
4. 入/出力 接続端子
5. 電源ソケット
6. チルト調整フット
7. レンズキャップ（GT1080のみ）
8. スピーカ
9. ズームレバー（HD26のみ）
10. フォーカス リング
11. ランプカバー
12. 換気(吸気口)
13. 換気(排気口)
14. Kensington™ ロック

キーパッド

1. ソース
2. Enter
3. キーストン補正
4. 再同期
5. メニュー
6. ヘルプ
7. ランプ インジケータ LED
8. オン/スタンバイ LED
9. 電源ボタン
10. 温度インジケータ LED
11. 4方向選択キー

入/出力 接続端子

1. 12V トリガー (12V、250mA、3.5mm ミニジャック)
2. 3D シンクロ (5V) 端子
3. HDMI 1/ MHL端子
4. セキュリティ バー
5. オーディオ (3.5mm ミニジャック)
6. HDMI 2 端子
7. USB-B ミニ端子 (メーカーメンテナンス用)
8. 電源ソケット

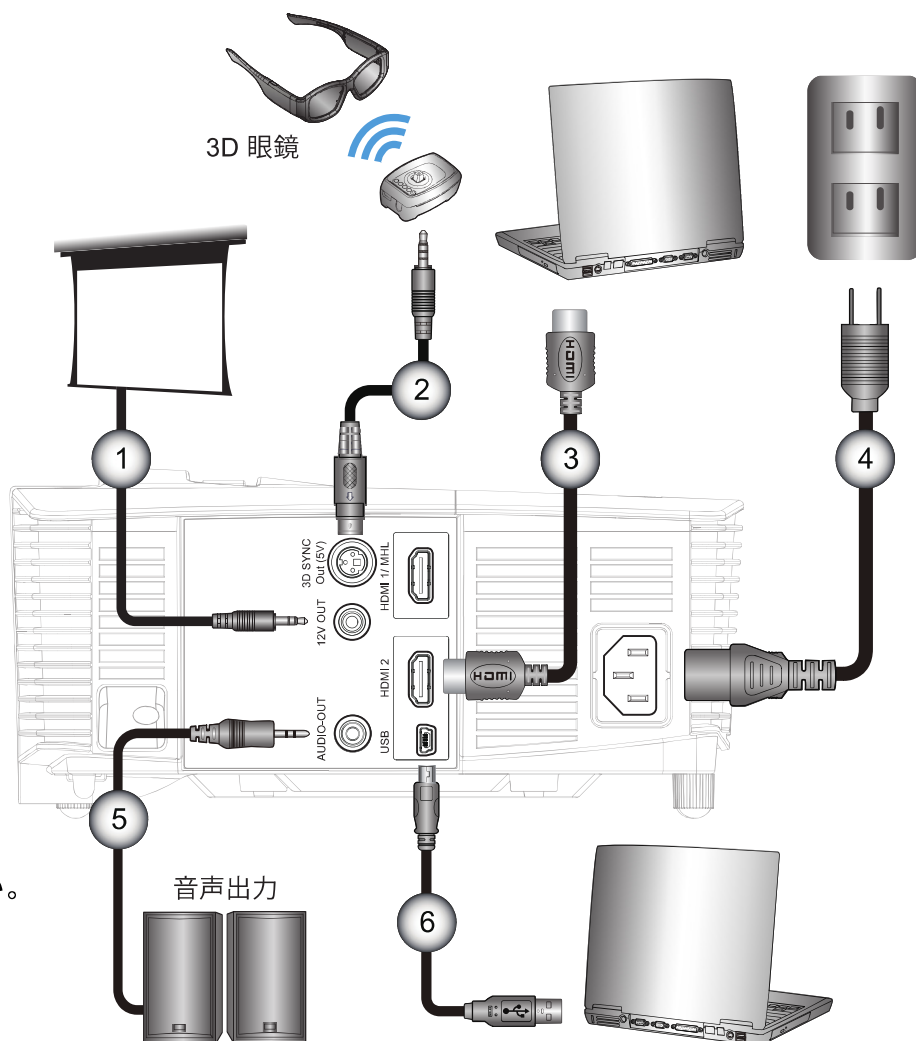
❖ リモートマウスには特別なリモートが必要です。

リモコン

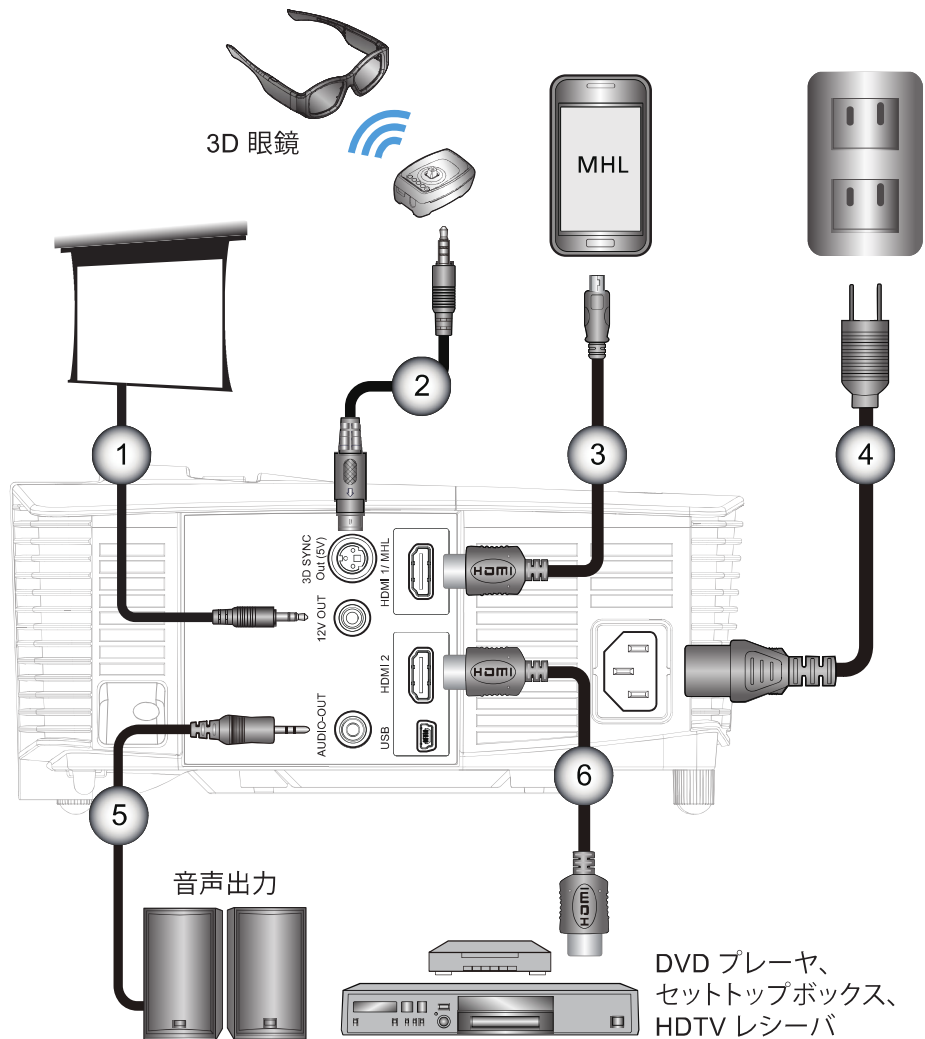
❖ キーによっては、これらの特長をサポートしていないモデルの機能がない場合があります。

1. 電源オン
2. 電源オフ
3. ユーザー 1 / ユーザー 2 / ユーザー 3
4. コントラスト
5. 輝度
6. ディスプレーモード
7. アスペクト比
8. キーストン
9. 3D
10. 消音
11. スリープ タイマー
12. Dynamic Black
13. ソース
14. 再同期
15. 音量 +/-
16. Enter
17. メニュー
18. 4 方向選択キー
19. HDMI1
20. HDMI2
21. VGA1
22. YPbPr
23. VGA2
24. ビデオ

プロジェクタへの接続

コンピュータ / ノート パソコンへの接続

- ❖ 付属品は、お住まいの国や地域によって異なる場合があります。
- ❖ (*) 別途ご購入ください。

1...*12V DC プラグ
2...*3D エミッターケーブル
3...HDMI ケーブル
4...電源コード
5...* 音声出力ケーブル
6...* USB ケーブル

ビデオソースの接続

DVD プレーヤ、ブルーレイプレーヤ、セットトップボックス、HDTV レシーバ、ゲームコンソール

❖ (*) 別途ご購入ください。

1...*12V DC プラグ
2...*3D エミッターケーブル
3...* MHL ケーブル (MicroUSB - HDMI)
4...電源コード
5...* 音声出力ケーブル
6...HDMI ケーブル

3D ビデオデバイスへの接続

❖ 3Dビデオソース機器は、3Dプロジェクタの前に、必ず電源を入れてください。

図のようにHDMIケーブルと機器を接続した場合、使用準備完了となります。3D ビデオソースと 3D プロジェクタの電源をオンにします。

プレイステーション®3

- 最新ソフトウェアバージョン向けにコンソールをアップデートされたか、ご確認ください。
- [設定メニュー -> 表示設定-> ビデオ出力-> HDMI]へお進みください。[自動的]を選択し、画面上の指示に従ってください。
- 3Dゲームのディスクを挿入ください。または、プレイステーション®ネットワーク経由でゲームをダウンロード（及び3Dのアップデート）することができます。
- ネットワーク ゲームのスタート。ゲームメニューで[3Dを起動]を選択ください。

Blu-ray 3D™ プレーヤー

- ご自身のプレーヤーが3D Blu-ray™ディスクに対応し、3D出力が可能か、ご確認ください。
- 3D Blu-ray™ディスクをプレーヤーに挿入し、[プレイ]を押してください。

3D TV (例、SKY 3D、DirecTV)

- ご自身のチャンネルパッケージにおいて、3Dチャンネルがあるかどうか、TVプログラムサービスプロバイダーにお問い合わせください。
- 使用可能となった場合、3Dチャンネルに切り替えてください。
- 並行する2つの画像が出現します。
- 3D プロジェクタの [Side By Side モード] に切り替えます。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレー」セクションにあります。

❖ 入力ビデオが通常の2Dの場合、[3D映像フォーマット]にするために[オート] を押し[オフ] に切り替えてください。

❖ [Side By Side モード] が作動している場合、2Dビデオの内容は正しく表示されません。

2D 1080iサイドバイサイド信号出力を伴う3D 機器(例、3D DV/DC)

- 3D機器に接続し、2D サイドバイサイド出力を伴う 3D コンテンツから 3D プロジェクタに切り替えてください。
  - 並行する2つの画像が出現します。
- 3D プロジェクタの [Side By Side モード] に切り替えます。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレー」セクションにあります。

HDMI 1.4a ソース (例、3D Blu-ray) から 3D コンテンツを鑑賞する場合、常に 3D 眼鏡を同期する必要があります。HDMI 1.3 ソースから 3D コンテンツ (例、Side By Side モードを使用する 3D 放送) を鑑賞している場合、3D を最適化するために、プロジェクタの 3D 同期反転オプションを使用する必要があります。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレー ->3D」セクションにあります。

3D放送
3D Blu-ray™ディスク
3Dコンソールゲーム
SKY+HD、ケーブル/衛星ボックス
3D Blu-ray™プレーヤー
プレイステーション® 3
3D DLP®Link™ 眼鏡
フル3D 1080p DLP® プロジェクタ
3D RF 眼鏡
3D エミッター

HDGT15Y06

❖ 更に詳細の情報につきましては、3D眼鏡ユーザーガイドをご参照ください。

3D眼鏡の使用

1. 3D眼鏡をオンにする。
2. 3D接続の検証がプロジェクタに送られ、信号がプロジェクタの仕様に対応します。
3. [3D モード](オフ / DLP リンク / VESA 3D - 使用している眼鏡のタイプによって異なります)をオンにします。当オプションは、プロジェクタOSDメニューの「ディスプレー」セクションにあります。
4. 3D 眼鏡をオンにすると、快適な3D映像を楽しむことができます。
5. 3Dで画像が表示されない場合、3D 映像が送信されているかどうか、3D機器設定をよくお確かめください。または、入力信号が2D 1080iサイドバイサイドの際、[Side By Side モード]がオンとなっているかお確かめの上、上述の1～4のステップを再試行してください。
6. 3D映像が正しく表示されない場合は3Dメガネの同期を反転させると解決する場合があります。プロジェクタの「3D同期反転」はOSDメニューの「ディスプレー」セクションにあります。
7. 3D眼鏡をオフにする。
8. 設定についての更なる情報につきましては、3D眼鏡ユーザーガイドまたはメーカーサイトをご参照ください。

プロジェクタの電源オン/オフ

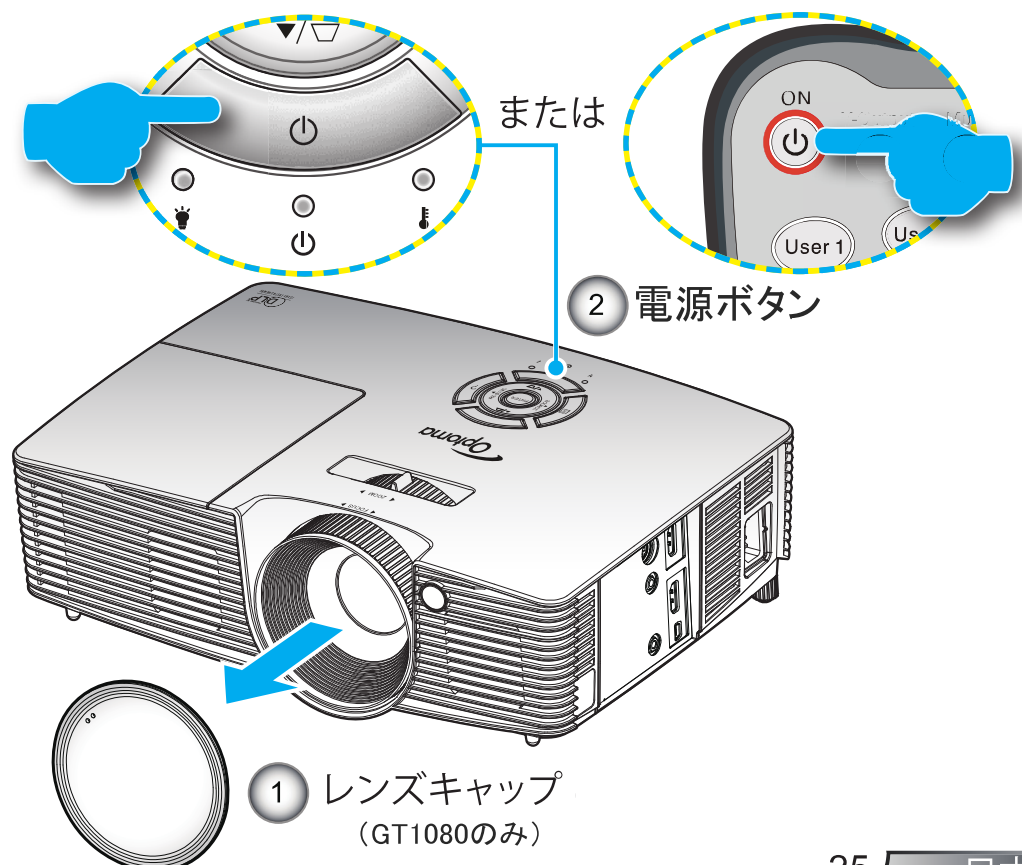
プロジェクタの電源オン

1. レンズ キャップを取り外します。❶（GT1080のみ）
2. 電源コードとシグナルケーブルをしっかりと接続します。接続が済むと、オン/スタンバイ LED が赤く点灯します。
3. プロジェクタ上部またはリモコンの [⏻] ボタンを押して、ランプの電源を入れます。オン/スタンバイ LED が青の点滅後に、青く点灯します。❷

   起動画面は約 10 秒後に表示されます。プロジェクタを初めて使用するとき、使用言語と省電力モードを選択するように求められます。
4. スクリーンに表示させたい（コンピュータ、ノート パソコン、ビデオ プレーヤーなど）ソースの電源を入れて、接続します。プロジェクタは、ソースを自動的に検出します。検出されない場合、[メニュー] ボタンを押して、[オプション] を開きます。
   [ソースロック] が [オフ] になっていることを確認します。

❖ 複数のソースを同時に接続している場合は、キーパッドの [ソース] ボタン、またはリモコンのダイレクトソースキーを押すと、入力を切り換えることができます。

❖ まず、プロジェクタの電源を入れた後、信号ソースを選択します。

HDGT15Y06

プロジェクタの電源を切る

1. リモコンの [⏼] ボタン、またはキーパッドの [⏻] を押してプロジェクタの電源をオフにします。画面上に次のメッセージが表示されます。

   [⏼] ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、10 秒後にメッセージが消えます。2 回目に [⏼] ボタンを押すと、プロジェクタはットダウンします。

2. 冷却ファンは約10秒間作動し続けて冷却を行うと、オン/スタンバイLEDが青に点滅します。オン/スタンバイLEDが赤色に点灯すると、プロジェクタはスタンバイモードに入っています。

   プロジェクタの電源を再び入れたい場合、プロジェクタが冷却サイクルを終了して、スタンバイモードに入るのを待つ必要があります。スタンバイモード中は、[⏻] ボタンを押すだけでプロジェクタを立ち上げることができます。

3. 電源コードをコンセントおよびプロジェクタから抜きます。
4. 電源を切った直後は、プロジェクタの電源を入れないでください。

警告インジケータ

❖ プロジェクターにこれらの症状が現れる場合は、お近くのサービスセンターまでご連絡ください。詳細は、65-66 ページを参照してください。

警告インジケータ（以下を参照）がオンになると、プロジェクタは自動的にシャットダウンします:

❖ [ランプ] LED インジケータが赤く点灯し、[オン/スタンバイ] インジケータが赤色に点滅している場合。

❖ [温度] LED インジケータが赤く点灯し、[オン/スタンバイ] インジケータが赤色に点滅している場合。この状態は、プロジェクタが過熱していることを示しています。標準の条件下になると、プロジェクタのスイッチをオンにすることができます。

❖ [温度] LED インジケータが赤く点滅し、[オン/スタンバイ] インジケータが赤色に点滅している場合。

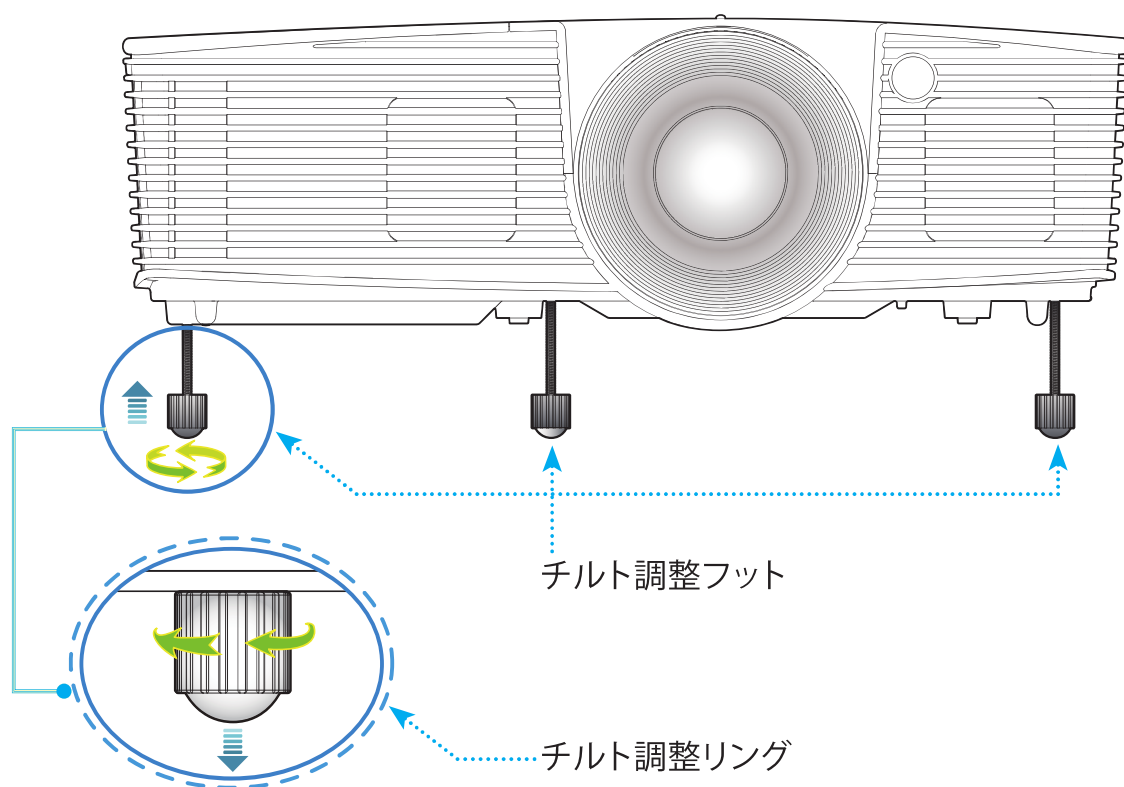
プロジェクタから電源コードを抜き、30秒後に再試行します。警告インジケータが再び点灯したら、最寄りのサービスセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

投射画像の調整

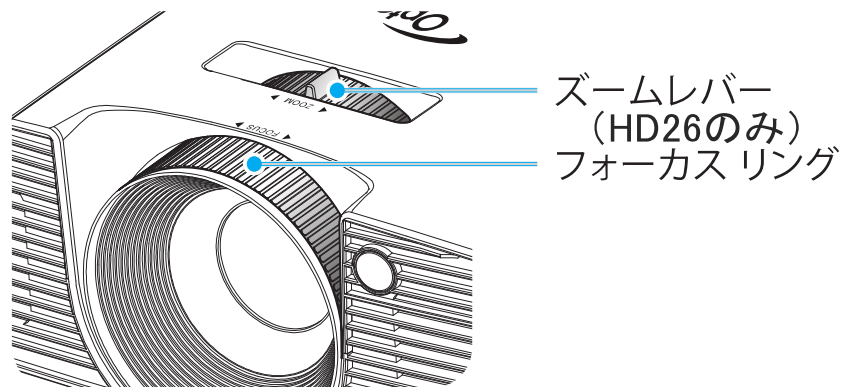
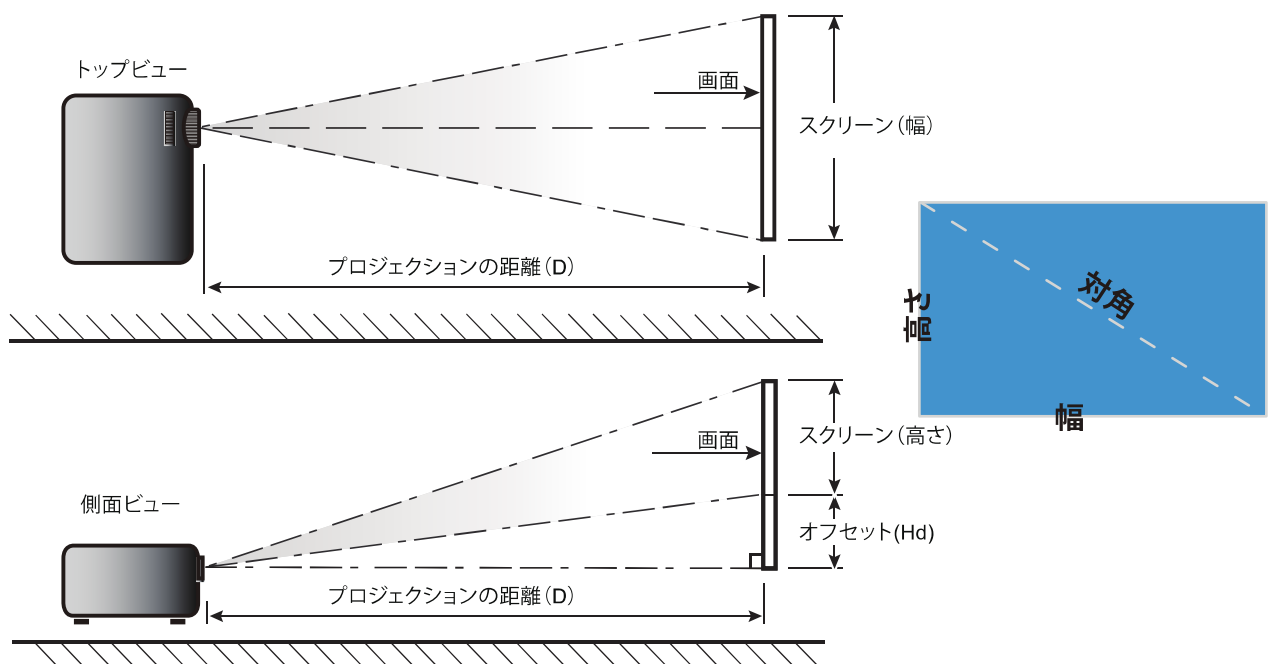
プロジェクタの高さを調整する

本プロジェクタには、投射映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクタの底面の、変更したい調整フットを探します。
2. 調整リングを時計周りに回すとプロジェクタの高さが高くなり、反時計周りに回すと高さが下がります。必要に応じて、残りの足についてもこの手順を繰り返します。

HDGT15Y06

プロジェクタのズーム/フォーカスを調整する

ズーム リングを回してズームイン/ズームアウトします。映像のピントを調節するには、くっきりした映像が表示されるように、フォーカス リングを回します。

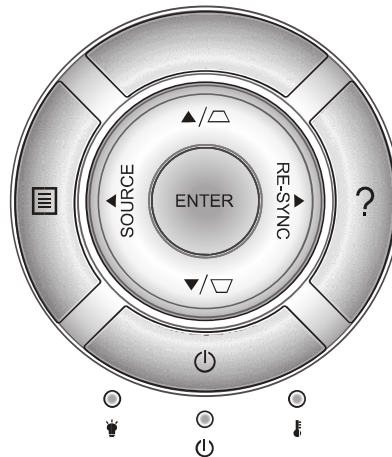
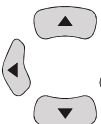
- HD26（標準投影）: 本プロジェクタは、1.08 ～ 10.06m の距離内でピントを合わせることができます。
- GT1080（短焦点）　: プロジェクタは、0.33～3.39m の距離内でピントを合わせることができます。

プロジェクタの画面サイズの調整

HD26　投影距離

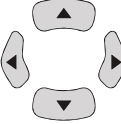
画面の対角長さ(インチ)	画面サイズ幅x高さ		プロジェクションの距離(D)		オフセット(Hd)
	幅(m)	高さ(m)	最短(ワイド)(m)	最長(テレ)(m)	(m)
30	0.66	0.37	0.98	1.08	0.06
40	0.89	0.50	1.31	1.43	0.08
60	1.33	0.75	1.97	2.15	0.12
80	1.77	1.00	2.62	2.87	0.16
90	1.99	1.12	2.95	3.23	0.18
100	2.21	1.24	3.28	3.59	0.20
110	2.44	1.37	3.60	3.94	0.22
120	2.66	1.49	3.93	4.30	0.24
130	2.88	1.62	4.26	4.66	0.26
140	3.10	1.74	4.59	5.02	0.28
150	3.32	1.87	4.92	5.38	0.30
160	3.54	1.99	5.24	5.74	0.32
180	3.99	2.24	5.90	6.46	0.36
200	4.43	2.49	6.55	7.17	0.40
250	5.54	3.11	8.19	8.97	0.50
300	6.64	3.73	9.83	10.76	0.60
307	6.80	3.82	10.06	11.01	0.61

GT1080　投影距離

画面の対角長さ(インチ)	画面サイズ幅x高さ		プロジェクションの距離(D)	オフセット(Hd)
	幅(m)	高さ(m)	ズーム固定(m)	(m)
30	0.66	0.37	0.33	0.06
40	0.89	0.50	0.44	0.08
60	1.33	0.75	0.66	0.12
80	1.77	1.00	0.88	0.16
90	1.99	1.12	0.99	0.18
100	2.21	1.24	1.10	0.20
110	2.44	1.37	1.21	0.22
120	2.66	1.49	1.33	0.24
130	2.88	1.62	1.44	0.26
140	3.10	1.74	1.55	0.28
150	3.32	1.87	1.66	0.30
160	3.54	1.99	1.77	0.32
180	3.99	2.24	1.99	0.36
200	4.43	2.49	2.21	0.40
250	5.54	3.11	2.76	0.50
300	6.64	3.73	3.31	0.60
307	6.80	3.82	3.39	0.61

キーパッドおよびリモコン

キーパッド

キーパッドの使用		
電源	⏻	25～26ページの「プロジェクターの電源オン/オフ」を参照してください。
RE-SYNC	RE-SYNC	プロジェクタが自動的に入力ソースと同期します。
ENTER	ENTER	選択した項目を確定します。
SOURCE	SOURCE	[SOURCE] を押して入力信号を選択します。
メニュー	☰	[Menu] を押してオンスクリーン (OSD) メニューを起動します。OSD を終了するには、もう一度 [Menu] を押します。
ヘルプ	?	ヘルプ メニュー (OSD メニューが表示されていない場合のみ使用可能)。
4方向選択キー		▲ ▼ ◀ ▶ を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
キーストン	⏢ / ⏢	⏢ ⏢ を使用して、プロジェクタを斜め方向から投射することにより生じる、画像のゆがみを調整します。(±40 度)
ランプ インジケータ LED	○	プロジェクタのランプのステータスを表示します。
温度インジケータ LED	○	プロジェクタの温度ステータスを表示します。
オン/スタンバイ LED	⏻ ○	プロジェクタのステータスを表示します。

リモコン

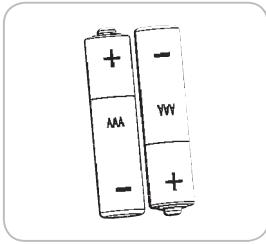
リモコンのボタン		
電源オン		プロジェクタの電源を入れます。
電源オフ		プロジェクタの電源を切ります。
ユーザー 1 / ユーザー 2 / ユーザー 3	User 1 User 2 User 3	ユーザー定義キー。設定については 60 ページをご参照ください。
輝度		画像の輝度を調整します。
コントラスト		映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。
モード		さまざまなアプリケーションの最適設定を行う場合、ディスプレーモードを選択してください。(34ページを参照してください)
キーストン		プロジェクタを斜め方向から投射することにより生じる、画像のゆがみを調整します。
アスペクト比		これを押すと、表示画像のアスペクト比を変更できます。
3D	3D	3Dコンテンツに一致する3D モードを手動で選択します。
消音		一時的に音声のオン/オフを切り換えることができます。
DB (DynamicBlack)		画像シーンを自動的判断し、最適のコントラストパフォーマンスを発揮できるように、画像の輝度を自動的に調整します。
スリープ タイマー		カウントダウンタイマーの時間を設定します。
音量 + / 音量 -		音量の増減を調整します。
ソース		「Source」を押して入力信号を選択します。
再同期		プロジェクタが自動的に入力ソースと同期します。

リモコンのボタン

Enter	↵	選択した項目を確定します。
メニュー		プロジェクタのオンスクリーン表示メニューを表示したり終了したりします。
HDMI1		[HDMI1] を押してHDMI 1 / MHLコネクタからソースを選択します。
HDMI2		[HDMI2] を押してHDMI 2コネクタからソースを選択します。
VGA1		機能なし。
VGA2		機能なし。
ビデオ		機能なし。
YPbPr		機能なし。
4 方向選択キー		▲ ▼ ◀ ▶を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。

MHL (Mobile High-Definition Link) 制御

モード		[モード] ボタンを 1 秒以上押して MHL のリモコンモードを起動します。 MHL 終了するには、もう一度 [モード] ボタンを押します。
Enter		ファイルを選択します。
メニュー		これを押すと、ルートメニューが表示されます。
4 方向選択キー		[上]、[下]、[左]、[右] ボタンを使用して項目を選択したり、選択に合わせて調整を行います。

HDGT15Y06

電池の取り付け

リモコンには単 4 電池 2 本が付属しています。

メーカーが推奨するものと同一または同等の電池と交換してください。

注意事項

電池の使い方が正しくないと、化学物質の漏れや爆発が起こる恐れがあります。必ず以下の指示に従ってください。

異なる種類の電池を混在させない。電池の種類によって特性が異なります。

古い電池と新しい電池を混在させない。古い電池と新しい電池を混在させると、新しい電池の寿命が短くなったり、古い電池から化学物質漏れが起こる恐れがあります。

使い切った電池はすぐに取り外す。電池から漏れた化学物質が肌に触れると発疹が出ることがあります。化学物質漏れを発見した場合は、布で拭きとってください。

本製品に付属の電池は、保管状態により予想寿命が短いことがあります。

長時間リモコンを使用しない場合は、電池を取り外してください。

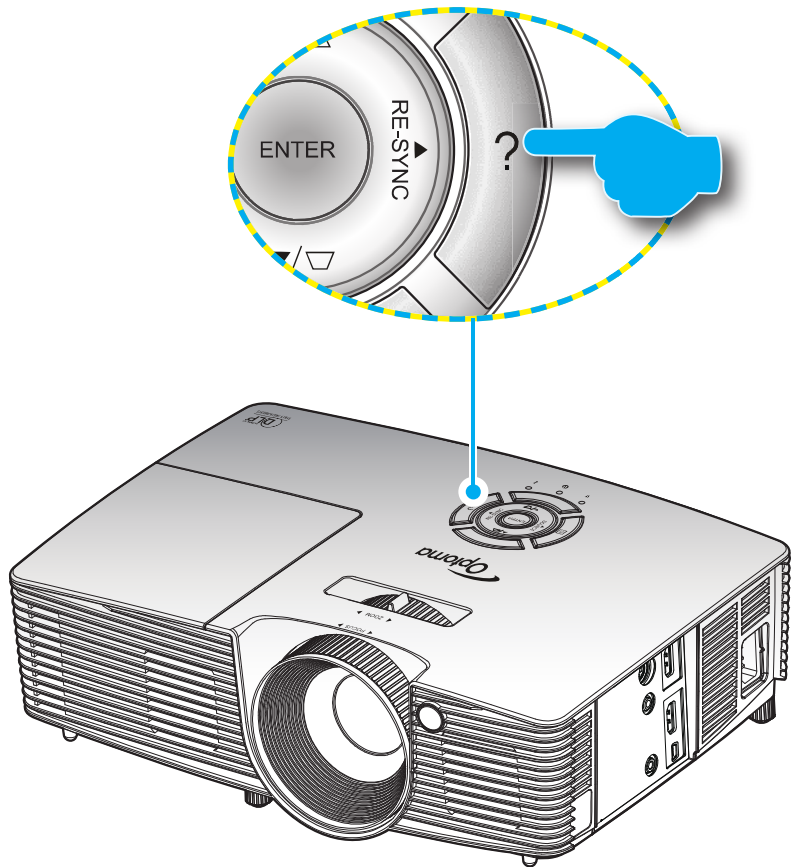
電池を廃棄する際は、必ず関連する地域や国の法律に従ってください。

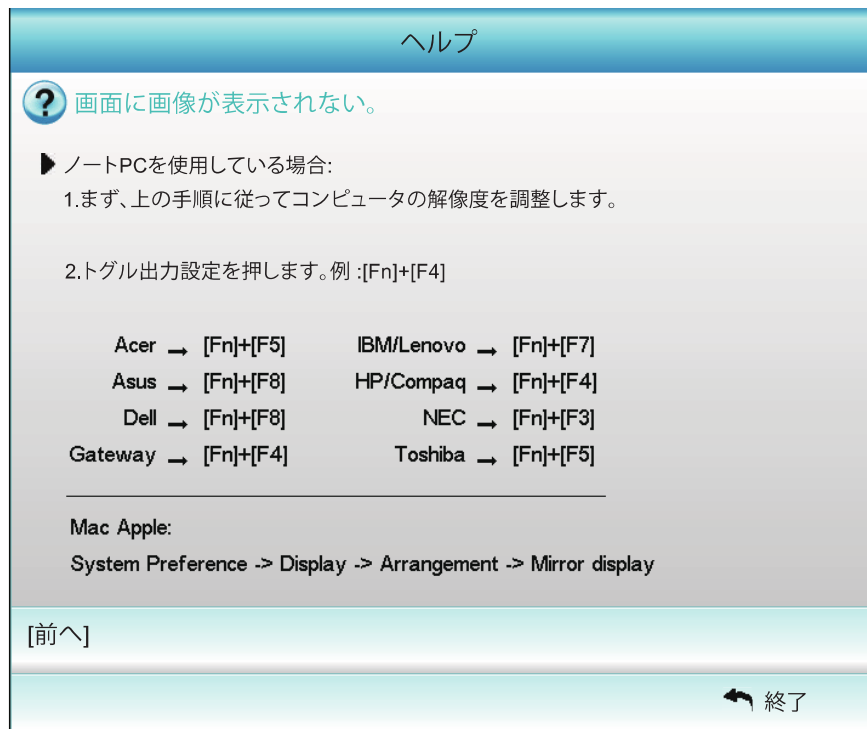
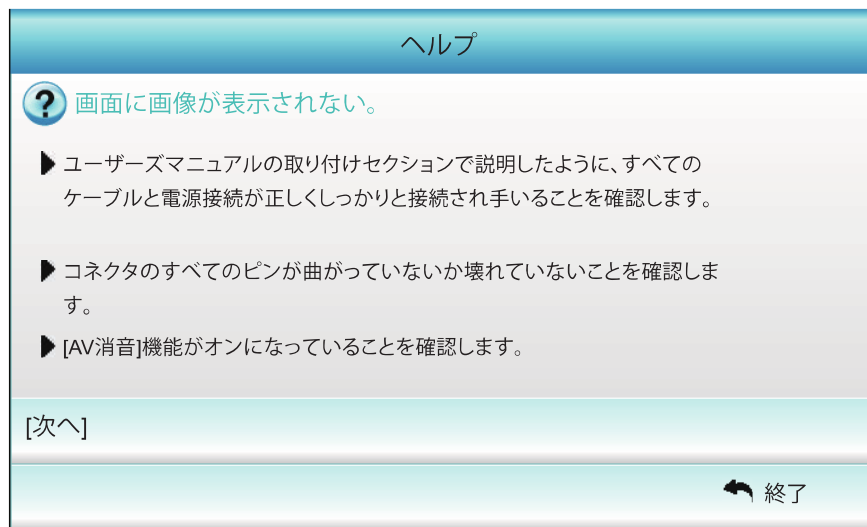
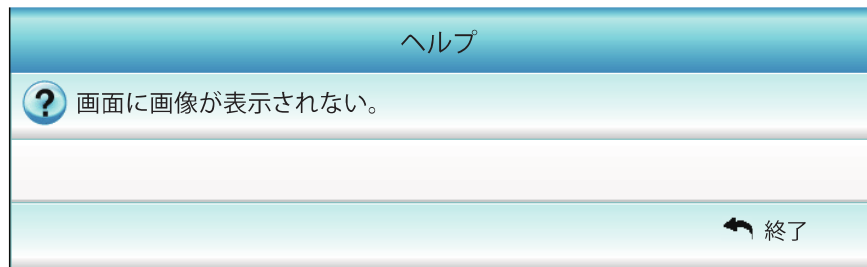
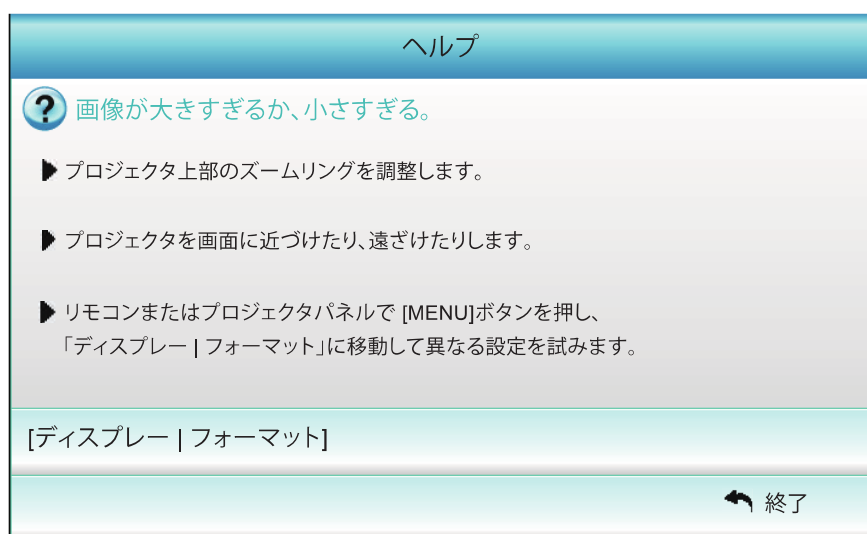
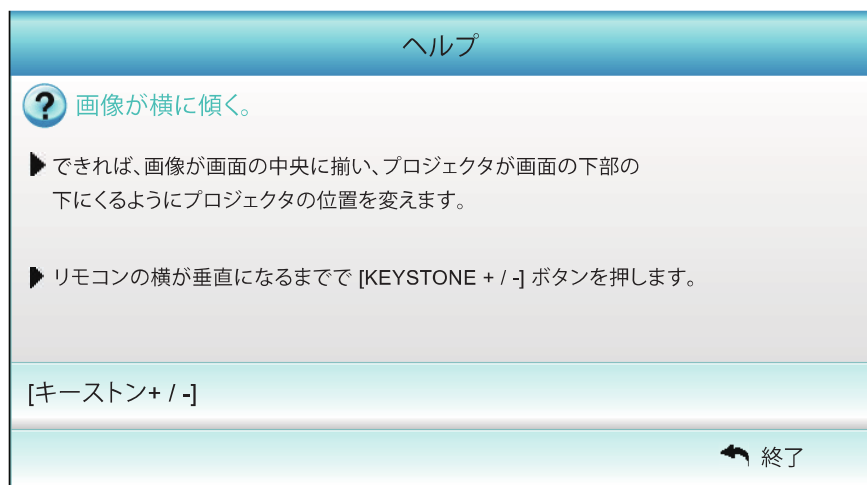
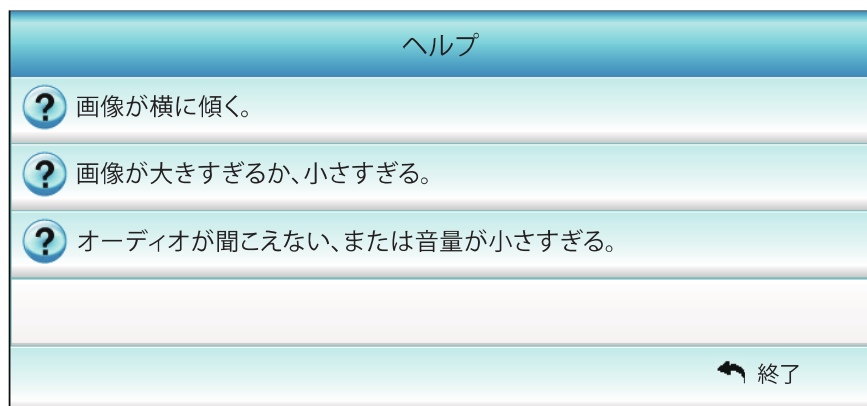
電源コードについて注意事項:

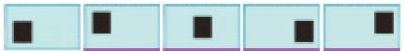
1. 必ずアース接続を行ってください。
2. アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行って下さい。
3. 本製品付属電源ケーブルは日本国内仕様(AC100V)になりますので、海外での使用できません。

[HELP] ボタンを使用する

[ヘルプ] 機能は、設定と操作を容易にします。

- キーパッドで [?] ボタンを押すと、[ヘルプ] メニューが開きます。

- [ヘルプ] メニューボタンは、入力ソースが検出されないときのみ機能します。

❖ 詳細については、62-63ページの「トラブルシューティング」セクションを参照してください。

- 入力ソースが検出されヘルプボタンが押された場合、問題を診断できるように、次のページが表示されます。

オンスクリーンディスプレーメニュー

本プロジェクタでは、多言語対応オンスクリーン メニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。プロジェクタは、ソースを自動的に検出します。

操作方法

1. OSD メニューを開くには、リモコンまたはキーパッドの [Menu] ボタンを押します。
2 OSDが表示されたら、◄► キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。特定のページを選択し、▼ または [Enter] キーを押してサブ メニューへ進みます。
3. ▲▼ キーを使ってサブメニューで希望のアイテムを選択し、► または [Enter] キーを押して詳細設定を表示します。◄► キーによって設定を調整します。
4. サブ メニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定を調整します。
5. [Enter] または [Menu] ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度 [Menu] ボタンを押します。オンスクリーンメニューが終了し、プロジェクタは自動的に新しい設定を保存します。

HDGT15Y06

メニュー ツリー（階層）

メイン メニュー	サブ メニュー	設定		
イメージ	ディスプレーモード			シネマ / 参照 / 鮮明 / 明るい / 3D / ユーザー / ゲーム
	輝度			-50~50
	コントラスト			-50~50
	#1 彩度			-50~50
	#2 色合い			-50~50
	シャープネス			1~15
	詳細	ノイズ リダクション		0~10
		γ		映画 / ビデオ / グラフィック / 標準
		BrilliantColor™		1~10
		DynamicBlack		オフ / オン
		色温度		暖色 / 標準 / クール / 冷色
		色設定	赤 / 緑 / 青 / 青緑色 / マゼンタ色 / 黄	色合い / 彩度 / ゲイン
			白	赤 / 緑 / 青
			リセット	
			終了	
		色空間		オート / RGB (0-255) / RGB (16-235) / YUV
		終了		
	リセット			
	終了			
ディスプレー	フォーマット			4:3 / 16:9 / LBX / ネーティブ / スーパーワイド
	エッジマスク			0~5
	ズーム			0~10
	映像移動調整	映像水平位置		-100~100
		映像垂直位置		-100~100
	垂直キーストン			-40~40
	3D	3D モード		オフ / DLP リンク / VESA 3D
		3D映像フォーマット		オート / Side By Side / Top and Bottom / Frame Sequential
		3D -> 2D		3D / L / R
		#3 3D同期反転		オン / オフ
		終了		
	終了			
設定	言語			言語: English / Deutsch / Français / Italiano / Español / Português / Svenska / Nederlands / Norsk/Dansk / Polski / Русский / Suomi / ελληνικά / Magyar / Čeština / عربي / 繁體中文 / 简体中文 / 日本語 / 한국어 / ไทย / Türkçe / فارسی / Vietnamese / Romanian / Indonesian / 終了
	投射方式			
	メニュー位置			
	音声設定	内蔵スピーカー		オン / オフ
		消音		オン / オフ
		音量		0~10
		終了		

メイン メニュー	サブ メニュー		設定
設定	セキュリティ	セキュリティ	オン / オフ
		セキュリティタイマー	月 / 日 / 時
		パスワード変更	
		終了	
	詳細	ロゴ	デフォルト / ニュートラル / ユーザー
		ロゴキャプチャ	
		終了	
	終了		
オプション	入力ソース		HDMI 1 / MHL / HDMI 2
	ソースロック		オン / オフ
	高度		オン / オフ
	信号捜索情報隠し		オン / オフ
	キーパッド ロック		オン / オフ
	テストパターン		なし / Grid / ホワイトパターン
	IR機能		全部 / 前方 / 上端 / オフ
	12Vトリガ		オフ / オン / 自動 3 Dフォーマット
	背景色		黒 / 赤 / 青 / 緑 / 白
	ランプ設定	ランプ使用時間	
		ランプ警告	オン / オフ
		ランプモード	明るい / エコ / ダイナミック省電モード
		ランプリセット	はい / いいえ
		終了	
	HDMI Link連結動作設定	HDMI Link	オフ / オン
		テレビを含む	はい / いいえ
		電源オン連結動作	双方向連結動作 / プロジェクタ → 装置 / 装置 → プロジェクタ
		電源オフ連結動作	オフ / オン
	リモート設定	ユーザー 1 / ユーザー 2 / ユーザー 3	色設定 / 色温度 / γ / HDMI Link / テストパターン / AV 消音
		終了	
	詳細	電源探知オート パワー オン	オン / オフ
		自動電源オフ(分)	0~180
		スリープ タイマー(分)	0~990
		電源モード(スタンバイ)	アクティブ / エコ
		終了	
	リセット	現在	キャンセル / はい
		全部	キャンセル / はい
	終了		

- オンスクリーンディスプレー(OSD)メニューは、選択した信号タイプと使用中のプロジェクタモデルによって変わります。
- (#1、#2) [彩度] および [色合い] オプションは、HDMI RGB ではなく HDMI YUV で使用可能です。
- (#3) [3D同期反転] は、3D が有効になっているときのみ使用できます。

ディスプレーモード

さまざまな映像タイプに合わせて、いくつかのプリセット設定が用意されています。

- シネマ: ホームシアターに適している彩度とコントラストを表現します。
- 参照: このモードは、映画監督が意図したように、画像をできるだけアップにして再生することを目的としています。カラー、色温度、コントラスト、γ 設定はすべて標準の参照レベルに設定されます。
- 鮮明: 目が覚めるような明るくカラフルなイメージを生成するよう最適化されています。
- 明るい: 最大輝度出力モード。明るい環境の画像観賞に適しています。
- 3D: 3D モードの設定を有効にするようにお勧めします。ユーザーが 3D で調節を行うと、新しい設定が保存され、次からはこの設定を利用できます。
- ユーザー: ユーザーの設定。
- ゲーム: 高彩度動画を基づいて、細部表現力と立体感を強化し、臨場感を出します。

輝度

画像の輝度を調整します。

- ◄ を押すと映像が暗くなります。
- ► を押すと映像が明るくなります。

コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。

- ◄ を押すとコントラストが下がります。
- ► を押すとコントラストが上がります。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ◄ を押すとシャープネスが下がります。
- ► を押すとシャープネスが上がります。

リセット

[はい] を選択すると「イメージ」の工場出荷時設定に戻ります。

イメージ | 詳細

ノイズ リダクション

ノイズ リダクションでは、可視的なノイズインターレース信号の量が減少します。範囲は「0」から「10」の間です。(0: オフ)

γ

これにより、γ のカーブタイプを設定できます。初期セットアップと微調整が完了したら、γ 調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- 映画: ホームシアター用。
- ビデオ: ビデオまたは TV ソース用。
- グラフィック: PC/フォトソース用。
- 標準: 標準化された設定用。

BrilliantColor™

新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の、鮮やかなカラーを実現します。範囲は「1」から「10」の間です。画像をより強化したい場合は、最大設定方向に調整します。画像をよりスムーズに、より自然にしたい場合は、最小設定方向に調整します。

DynamicBlack

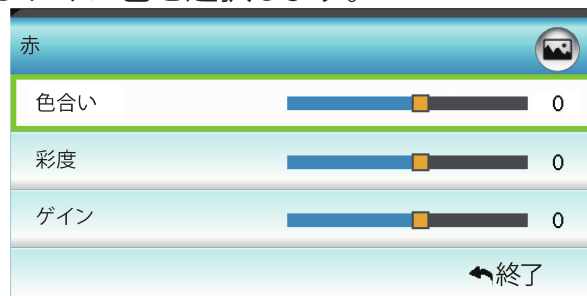
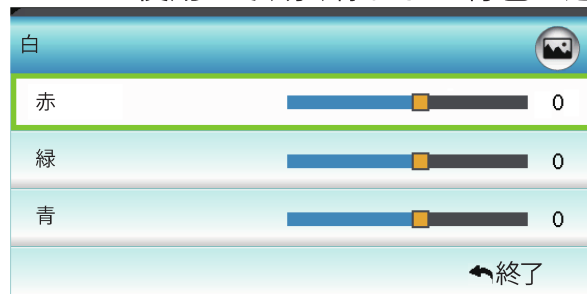
DynamicBlackにより、プロジェクタは暗い/明るい映画のシーンで細部まではっきり表示できるように、ディスプレーの輝度を自動的に最適化します。

色温度

暖色、標準、クール、冷色から色温度を選択します。

色設定

次のメニューで ► を押し、▲ か ▼または ◄ か ► を使ってアイテムを選びます。

- 赤/緑/青/青緑色/マゼンタ色/黄: ◄ または ► を使用して、色合い、彩度およびゲイン色を選択します。

- 白: ◄ または ► を使用して、赤、緑および青色を選択します。

- リセット: [リセット] を選択すると工場出荷時の色調整に戻ります。

色空間

オート、RGB(0-255)、RGB(16-235)、YUVから適切なカラー マトリックス タイプを選択します。

フォーマット

ここで好みのアスペクト比を選択します。

- 4:3: このフォーマットは、4 : 3 入力ソース用です。
- 16:9: ワイドスクリーンテレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような 16:9 入力用です。
- LBX: 16:9ではないレターボックスソースを投写する場合や、外部アナモルフィックレンズを使用して画像を2.35:1アスペクト比で最大解像度により投写する場合に選択します。
- ネーティブ: このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- スーパーワイド: このモードでは、2.35:1 ソースを拡大縮小し、黒いバーを取り除くために 100% の画像高に合わせています。(画像の左側と右側が切り取られます)。

LBX モードに関する詳細情報:

1. 一部のレターボックスフォーマット DVD には、16:9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレーの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、LBX モードを使って 16:9 ディスプレーに画像を合わせることができます。
2. 外部アナモルフィックレンズを使用する場合、このLBXモードによりアナモフィックワイドをサポートする2.35:1コンテンツ(アナモフィックDVDとHDTVフィルムソースを含む)を視聴することも可能で、ワイド2.35:1画像では16:9ディスプレーに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。ランプ電源と垂直方向の解像度がフル活用されます。

16:9 画面	480i/p | 576i/p | 1080i/p | 720p | PC
4:3	1440 x 1080 中央
16:9	1920 x 1080 中央
LBX	1920 x 1440 中央、それから表示する 1920 x 1080 イメージにします
ネーティブ	画像のサイズ変更、1:1マッピング、中央揃えはされません。このフォーマットは元の画像を拡大縮小なしで表示します。
スーパーワイド	2534 x 1426 (132% 拡大) に上げ、次に中央 1920x1080 画像を表示します。

- ❖ 各 I/O には別々の [エッジマスク] の設定があります。
- ❖ [エッジマスク] と [ズーム] は同時に機能できません。

エッジマスク

イメージをエッジマスクしてビデオ ソースのエッジのビデオ エンコード ノイズを削除します。

ズーム

- ◄ を押すとイメージのサイズが小さくなります。
- ► を押すとスクリーンに投射されたイメージが拡大します。

映像移動調整

以下のように次のメニューで ► を押し、▲ か ▼または ◄ か ► を使ってアイテムを選びます。

- 映像水平位置: ◄ ► を押して、投射された画像位置を水平にシフトします。
- 映像垂直位置: ▲ ▼ を押して、投射された画像位置を垂直にシフトします。

垂直キーストン

◄ または ►を押すと、画像の垂直の歪みが調整されより正方形に近い画像が得られます。

ディスプレー | 3D

3D モード

- オフ: [オフ] を選択すると、3D モードがオフになります。
- DLP リンク: [DLP リンク]を選択してDLPリンク3D眼鏡の最適化された設定を使用します。
- VESA 3D: [VESA 3D]を選択して VESA 3D 眼鏡の最適化された設定を使用します。

❖ [3D映像フォーマット] は非HDMI 1.4a 3D タイミングでのみサポートされます。

3D映像フォーマット

- オート: 3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- Side By Side: [サイドバイサイド] フォーマットで3D信号を表示します。
- Top and Bottom: 3D 信号を [Top and Bottom] フォーマットで表示します。
- Frame Sequential: 3D 信号を [Frame Sequential] フォーマットで表示します。

3D -> 2D

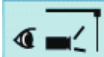
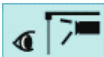
- 3D: 3D 信号を表示します。
- L (左): 3D コンテンツの左フレームを表示します。
- R (右): 3D コンテンツの右フレームを表示します。

3D同期反転

- 左右のフレームコンテンツを反転するには、[オン] を押します。
- デフォルトのフレームコンテンツの場合、[オフ] を押します。

設定

言語

多言語対応オンスクリーンメニューをご希望の言語に設定します。サブメニューの ► を押し、▲ か ▼ または ◄ か ► キーを使ってお好みの言語を選択します。[Enter] を押すと選択が確定されます。

言語			
English	Nederlands	Čeština	Türkçe
Deutsch	Norsk/Dansk	عربي	فارسى
Français	Polski	繁體中文	Vietnamese
Italiano	Русский	简体中文	Romanian
Español	Suomi	日本語	Indonesian
Português	ελληνικά	한국어	
Svenska	Magyar	ไทย	終了

❖ 裏面-卓上および裏面-天吊りは、透明なスクリーンを使用する際に使用できます。

投射方式

- 正面-投射

  これは、デフォルト設定です。画像がスクリーン上にまっすぐに投射されます。

- 裏面-卓上

  選択されると、画像を左右逆向きに表示します。

- 正面-天吊り

  選択されると、画像を上下逆向きに表示します。

- 裏面-天吊り

  選択されると、画像を上下・左右逆向きに表示します。

メニュー位置

スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。

設定 | 音声設定

❖ [消音] 機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。

内蔵スピーカー

内蔵スピーカーの [オン] または [オフ] を切り替えるには、[オン]または[オフ]を選択します。

消音

- [オン] を選択すると消音が有効になります。
- [オフ] を選択すると消音が無効になります。

音量

- ◄ を押すと音量が下がります。
- ► を押すと音量が上がります。

セキュリティ

- オン: [オン] を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティー検証を行います。
- オフ: [オフ] を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクタの電源を入れることができます。

セキュリティタイマー

時間(月/日/時)機能を選択して、プロジェクタの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクタから再度パスワードを入力するよう要求されます。

パスワード変更

- はじめて設定するとき:

1. [↵]を押して、パスワードを設定します。
2. パスワードは4桁で設定します。
3. リモコンの数字ボタンを押してパスワードを入力し、[↵] キーを押してパスワードを確認します。

- パスワード変更:
  (リモートに数字キーパッドが付いていない場合、上下矢印を使用してパスワードのそれぞれの数字を変更し [Enter] を押して確認してください)

1. [↵]を押して、古いパスワードを入力します。
2. 数字ボタンを押してパスワードを入力し、[↵] を押して確定します。
3. リモコンの数字ボタンを使って新しいパスワード(4桁)を入力し、[↵] を押して確定します。
4. もう一度新しいパスワードを入力し、[↵] を押して確定します。

- 間違ったパスワードを3回続けて入力すると、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。
- パスワードを忘れてしまった場合、お近くのサポートセンターにお問い合わせください。

❖ デフォルトのパスワードは、「1234」(初回時) です。

❖ ロゴキャプチャを正常に行うには、画面上のイメージがプロジェクタのネーティブ解像度を超えていないことを確認してください。(1080p: 1920 x 1080)。

ロゴ

この機能を使って希望のスタートアップスクリーンを設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- デフォルト: デフォルトの起動画面です。
- ニュートラル: ロゴは起動画面に表示されません。
- ユーザー: [ロゴキャプチャ]機能の保存画像を使用します。

ロゴキャプチャ

► を押すと、現在スクリーンに表示されている画像のイメージがキャプチャされます。

オプション

入力ソース

入力ソースを有効/無効にする際に使用します。▶ を押して、サブ メニューに入り、必要なソースを選択します。[Enter] を押すと選択が確定されます。プロジェクタは、有効になっている入力のみを検索します。

ソースロック

- オン: プロジェクタは、現在の入力接続のみを検索します。
- オフ: 現在の入力シグナルがない場合、プロジェクタは他のシグナルを検索します。

高度

[オン] が選択されると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

信号捜索情報隠し

- オン: [オン]を選択すると、[情報メッセージ] が非表示になります。
- オフ: [オフ]を選択すると、[検索中] メッセージが表示されます。

キーパッド ロック

キーボード ロック機能が [オン] の場合、キーパッドはロックされますが、プロジェクタはリモコンによって操作できます。[オフ] を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

テストパターン

テストパターンを表示します。グリッド、ホワイトパターン、なしがあります。

❖ [前方] および [上端] はスタンバイモードでは選択できません。

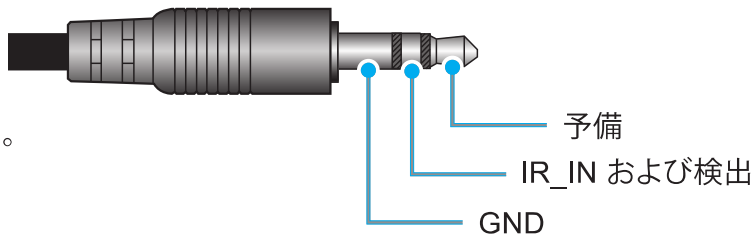
IR機能

- 全部: [全部] を選択すると、前方または上部 IRレシーバーからリモコンでプロジェクタを操作できます。
- 前方: [前方] を選択すると、IR レシーバーからリモコンでプロジェクタを操作できます。
- 上端: [上端] を選択すると、上部 IR レシーバーからリモコンでプロジェクタを操作できます。
- オフ: [オフ] を選択すると、前方または上部 IRレシーバーからリモコンでプロジェクタを操作できません。[オフ] を選択すると、キーパッドのキーを使用できるようになります。

12Vトリガ

- オフ: [オフ] を選択するとトリガが無効になります。
- オン: [オン] を選択するとトリガが有効になります。
- 自動３Dフォーマット:「自動３Dフォーマット」が有効になっているとき、プロジェクタは3D画像が表示される時間を自動的に検出し、このポートでトリガを有効にします。

❖ 12V トリガ A リレー端子に対応 12V、250mA。3.5mm ミニジャック。

HDGT15Y06

オプション

背景色

信号が使用できないとき、この機能を使用して[黒]、[赤]、[青]、[緑]、[白]画面を表示します。

リセット

- 現在:「はい」を選択するとこのメニューのディスプレーパラメータが工場出荷時設定に戻ります。
- 全部:「はい」を選択するとすべてのメニューのディスプレーパラメータが工場出荷時設定に戻ります。

オプション | ランプ設定

- ❖ 操作中に室温が40°Cを超えると、プロジェクタはエコモードに切り替わります。この場合、DBとランプモードは示しません。
- ❖ [ランプモード]は 2D と 3D で独立して設定できます。

ランプ使用時間

投射時間を表示します。

ランプ警告

ランプ交換メッセージが表示されたときに、警告メッセージの表示/非表示を設定します。
メッセージは、推奨されるランプの交換の約30時間前から表示されます。

ランプモード

- 明るい: [明るい] を選択すると明るさが増します。
- エコ: [エコ] を選択するとプロジェクタランプの光量を減らして電源消費量を少なくし、寿命を延長することができます。
- ダイナミック省電モード: [ダイナミック省電モード] を選択すると、コンテンツの輝度レベルを基にランプが薄暗くなるとともに、ランプの消費電力を動的に 100%〜30% の間で調整します。これにより、ランプの寿命が長くなります。

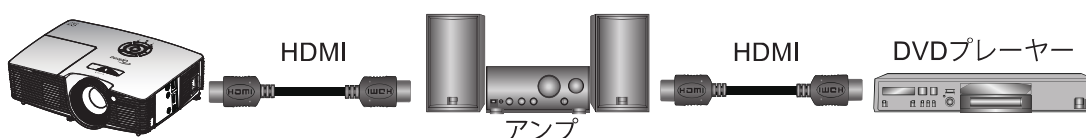
ランプリセット

ランプ交換後、ランプの寿命カウンタをリセットする際に使用します。

オプション | HDMI Link 連結動作設定

❖ スタンバイモードが 0.5W 未満の場合、HDMI Link 機能が動作しません。

HDMI Linkを使用する

- HDMIケーブルでHDMI CEC互換デバイスをプロジェクタに接続するとき、プロジェクタのOSDでHDMI Linkコントロール機能を使い同じ電源オンまたは電源オフ状態でコントロールできます。
- これにより、1台のデバイスまたはグループの複数のデバイスがHDMI Link機能経由で電源オンまたは電源オフにすることができます。
- 一般設定の場合、DVDプレーヤーはアンプまたはシアターシステムを通してプロジェクタに接続されます。

❖ 接続された製品の設計およびHDMI CEC規格への遵守によっては、HDMI Link機能が作動しない場合があります。

HDMI Link

HDMI Link機能の有効と無効を切り替えます。 TV包括、電源オン連結動作、電源オフ連結動作オプションは設定がオンに設定されている場合のみ使用できます。

TV包括

設定が「はい」の場合、テレビとプロジェクタは同時に自動的にオフになります。両方のデバイスが同時にオフにならないように、設定を「いいえ」にします。

電源オン連結動作

CEC 電源オンコマンド（装置の起動をコントロール）

- 双方向連結動作: プロジェクタとCECデバイスが両方同時にオンになります。
- プロジェクタ -> 装置: プロジェクタがオンになった後でのみ、CECデバイスのスイッチがオンになります。
- 装置->プロジェクタ: CECデバイスがオンになった後でのみ、プロジェクタのスイッチがオンになります。

電源オフ連結動作

設定が「オン」の場合、HDMI Linkで接続する設備とプロジェクタは同時に自動的にオフになります。「オフ」に設定されている場合、HDMI Linkで接続する設備とプロジェクタは同時に自動的にオフになりません。

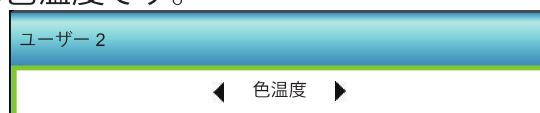
オプション | リモート設定

ユーザー 1

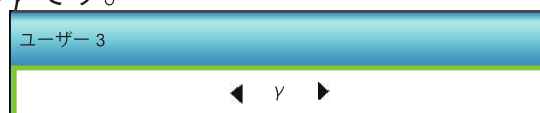
デフォルト値は色設定です。

[▶] を押して次のメニューに移動し、[◀] または [▶] を用いて「色設定」、「色温度」、「γ」、「HDMI Link」、「テストパターン」、「AV 消音」のアイテムを選びます。

ユーザー 2

デフォルト値は色温度です。

[▶] を押して次のメニューに移動し、[◀] または [▶] を用いて「色設定」、「色温度」、「γ」、「HDMI Link」、「テストパターン」、「AV 消音」のアイテムを選びます。

ユーザー 3

デフォルト値は γ です。

[▶] を押して次のメニューに移動し、[◀] または [▶] を用いて「色設定」、「色温度」、「γ」、「HDMI Link」、「テストパターン」、「AV 消音」のアイテムを選びます。

オプション | 詳細

❖ スリープタイマーの値は、プロジェクタの電源がオフになった後にゼロにリセットされます。

電源探知オート パワー オン

[オン] を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクタは、AC電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクタのキーパッドまたはリモコンの [⏻] キーを押す必要はありません。

自動電源オフ(分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクタへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクタの電源が切れます(単位は分です)。

スリープ タイマー(分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクタへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクタの電源が切れます(単位は分です)。

電源モード(スタンバイ)

- エコ: [エコ]を選択すると、節電モードになります(<0.5W)。
- アクティブ: [アクティブ] を選択すると通常スタンバイに戻ります。

トラブルシューティング

プロジェクタに問題が発生した場合は､以下をご参照ください｡それでも問題が解決しない場合､最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください｡

画像の問題

スクリーンに画像が写らない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
- 映写用ランプがしっかり取り付けられているか、チェックします。「ランプの交換」をご参照ください。
- レンズキャップを取り外し、プロジェクタのスイッチがオンになっていることを確認します。(GT1080のみ)
- [AV 消音] 機能がオンに設定されていないか確認してください。

画像のピントが合っていない

- レンズのキャップを取り外していることを確認してください。(GT1080のみ)
- プロジェクタレンズのフォーカスリングで調整してください。
- 投射画面がプロジェクタから必要な距離の間に入っていることを確認してください。(29～30ページを参照してください)

16:9 DVDを再生表示しているとき､画像が伸びる

- アナモフィックDVDまたは16:9 DVDを再生しているとき、プロジェクタはプロジェクタ側で16: 9フォーマットで最高の画像を表示します。
- LBXフォーマットのDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタのOSDでLBXとしてフォーマットを変更してください。
- 4:3フォーマットDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタOSDで4:3としてフォーマットを変更してください。
- それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を 変更する必要があります:
- お使いのDVDプレーヤーで、16:9 (ワイド)アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。

? 画像が大きすぎるか、小さすぎる

- プロジェクタ上部のズームレバーを調整します。(HD26のみ)
- プロジェクタを画面に近づけたり、遠ざけたりします。
- プロジェクタパネルの [メニュー] を押し、[ディスプレー-->フォーマット] に進みます。別の設定を試してみます。

? 画像が横に傾く:

- 可能であれば、プロジェクタがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。
- 調整を行うには、OSDから [ディスプレー-->垂直キーストン] を使用します。

? 画像が反転する

- OSDから [設定-->投射方式] を選択し、投射方向を調整します。

? ぼやけた二重画像

- 通常の2D画像がぼやけた二重画像にならないよう、[3D映像フォーマット]ボタンを押して[オフ]に切り替えてください。

? 2つの画像、サイドバイサイドフォーマット

- 入力信号がHDMI 1.3 2D 1080iサイドバイサイドとなるように、[3D映像フォーマット]ボタンを押して[Side By Side]に切り替えてください。

? 3Dで画像が表示されません

- 3D眼鏡のバッテリーが十分かどうか、ご確認ください。
- 3D眼鏡がオンになっているかどうか、ご確認ください。
- 入力信号がHDMI 1.3 2D (1080iサイドバイサイド)になっているとき、[3D映像フォーマット]ボタンを押して[Side By Side]に切り替えてください。

その他の問題

? プロジェクタがすべてのコントロールへの反応を停止します

- 可能であれば、プロジェクタの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

? ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。 この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクタの電源を入れることはできません。「ランプの交換」に記載の手順に従ってランプを交換してください。

リモコンの問題

? リモコンが作動しない場合、次を確認してください

- リモコンの操作角度が、プロジェクタのIRレシーバーから水平および垂直方向に±15°以上ずれていないことを確認します。
- リモコンとプロジェクタとの間に障害物がないことを 確認する。プロジェクタから6 m以内に移動する。
- 電池が正しくセットされていることを確認する。
- 古くなった電池は、新しいものと交換します。

LED 点灯メッセージ

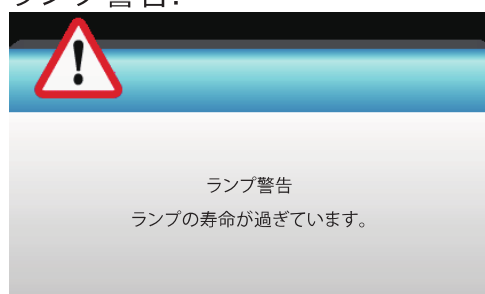
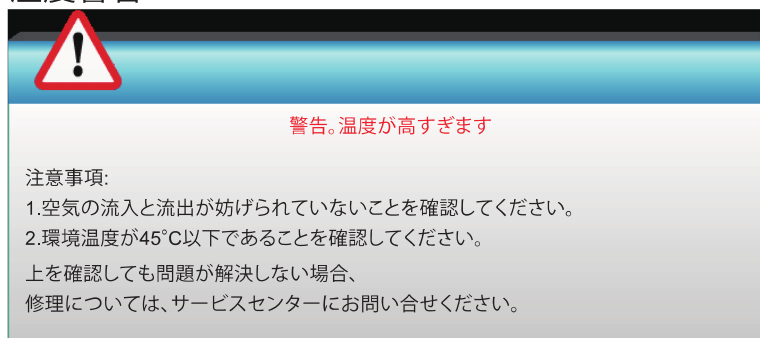
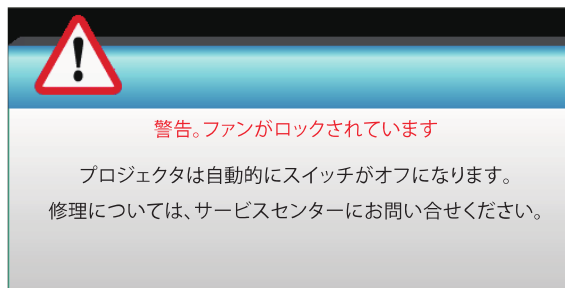
メッセージ	オン/スタンバイ LED	温度インジケータ LED	ランプ インジケータ LED
	(青/赤)	(赤)	(赤)
スタンバイ状態 (電源入力コード)	赤	○	○
電源オン(ウォーミング)	青で点滅	○	○
ランプ点灯	青	○	○
電源オフ(冷却)	青で点滅	○	○
エラー (過熱)	赤で点滅	☀	○
エラー(ファントラブル)	赤で点滅	点滅	○
エラー(ランプトラブル)	赤で点滅	○	☀

＊ オン/スタンバイ LED は OSD が表示されるとオンになり、OSD が消えるとオフになります。

❖ 点灯 ⇨ ☀
消灯 ⇨ ○

オンスクリーン メッセージ

❖ パワーオフ:

❖ ランプ警告:

❖ 温度警告:

❖ ファンのトラブル:

❖ 表示範囲外:

ランプの交換

プロジェクタはランプの寿命を自動的に検出します。ランプの寿命に近づいている場合、警告メッセージが表示されます。

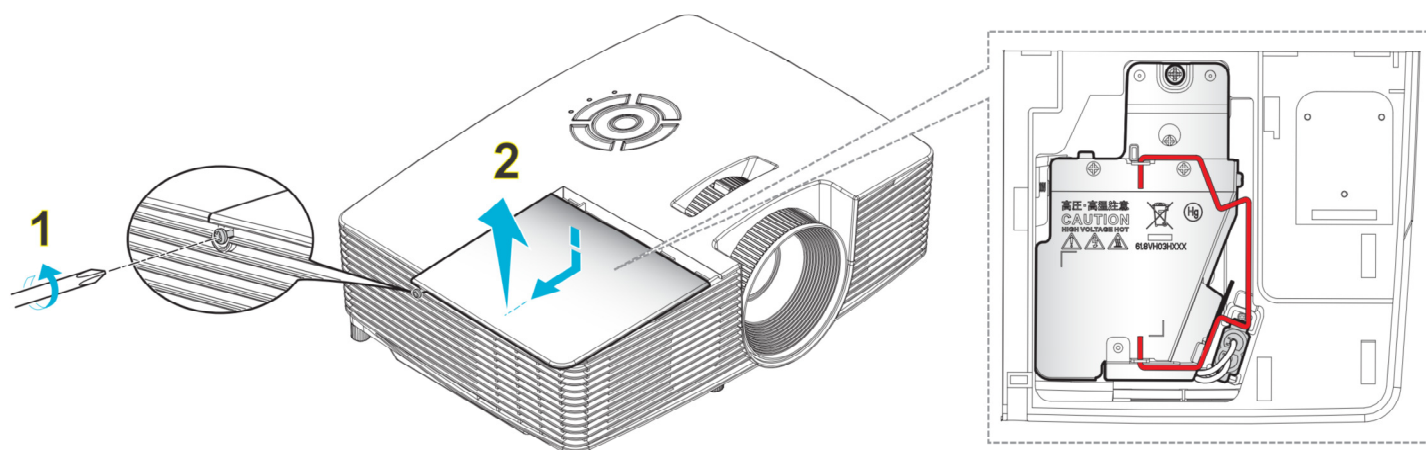
このメッセージが表示されたら、できる限り速やかに最寄りの販売店またはサービスセンターに連絡して、ランプを交換してください。ただし、ランプを交換する前に、プロジェクタが十分に放熱するまで約 30 分お待ちください。

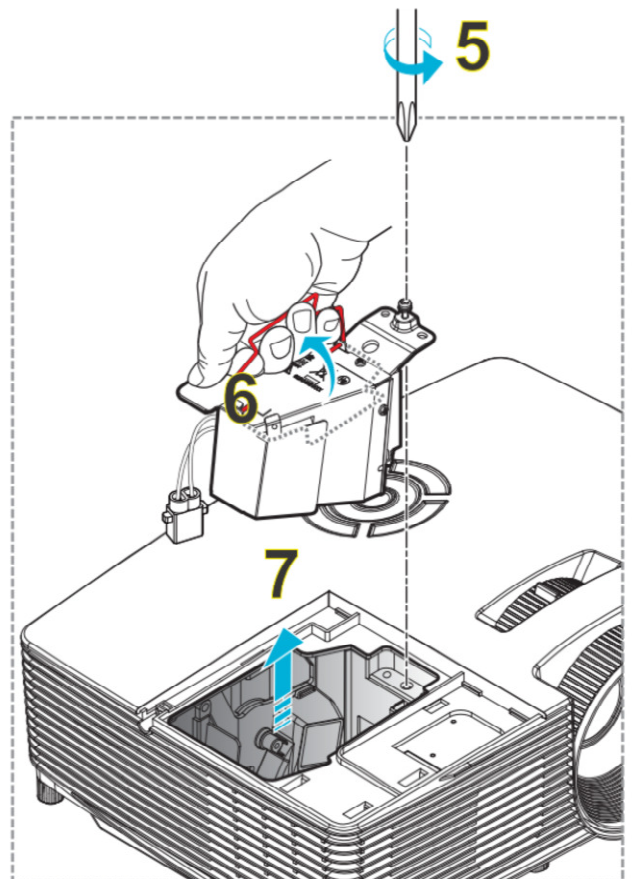
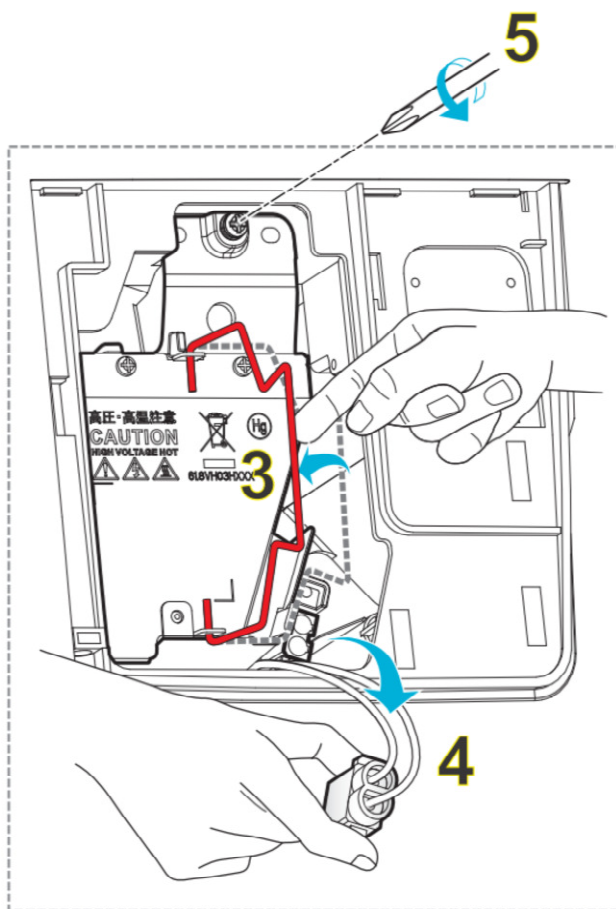
警告: 天上から吊り下げる場合、ランプ アクセス パネルを開けるときは注意してください。天井から吊り下げている状態で電球を交換する場合、安全メガネを着用することをお勧めします。「プロジェクタからゆるんだ部品が落下しないように、注意を払う必要があります」。

警告: ランプコンパートメントは熱くなっています! 放熱を待ち、ランプが十分に冷めてから交換してください!

警告: 怪我を防止するため、ランプを落下させたり、ランプのバルブに触れることのないようご注意ください。バルブが落下すると粉々に砕けて飛び散り、怪我をする恐れがあります。

ランプ交換手順:

1. リモコンの [⏻] ボタン、またはプロジェクタのキーパッドにある [⏻] を押してプロジェクタの電源をオフにします。
2. ランプが十分に冷めるまで約30分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. カバーにある 1 本のネジをゆるめます。1
5. カバーを押し上げて、取り外します。2
6. ランプハンドルを持ち上げます。3
7. 両側を押して持ち上げ、ランプコードを取り外します。4
8. ランプ モジュールにある 1 本のネジをゆるめます。5
9. ランプ ハンドル 6 を持ち上げて、ランプ モジュールをゆっくりと注意深く移動します。7
10. ランプモジュールを交換し、上記の手順を逆に繰り返します。
11. プロジェクタの電源をオンにし、ランプのタイマーをリセットします。
    ランプリセット：（ｉ）[メニュー]を押す→（ⅱ）[オプション]を選択→（ⅲ）[ランプ設定]を選択→（ⅳ）[ランプリセット]→（ｖ）[はい]を選択します。

❖ ランプ カバーとランプに付いたネジを外すことはできません。

HDGT15Y06

- プロジェクタにランプカバーが戻されなかった場合、プロジェクタは動作しません。
- ランプのガラス部分には触れないようにしてください。手の油分が付着すると、ランプが破裂する恐れがあります。誤ってガラス部分に触れてしまった場合は、乾いた布を使ってランプモジュールを拭いてください。

互換モード

HDMI / DVI-D の互換性

デジタル		
B0 / 確立タイミング	B0 / 標準タイミング	B0 / 詳細タイミング:
720 x 400 @ 70Hz 640 x 480 @ 60Hz 640 x 480 @ 67Hz 640 x 480 @ 72Hz 640 x 480 @ 75Hz 800 x 600 @ 56Hz 800 x 600 @ 60Hz 800 x 600 @ 72Hz 800 x 600 @ 75Hz 832 x 624 @ 75Hz 1024 x 768 @ 60Hz 1024 x 768 @ 70Hz 1024 x 768 @ 75Hz 1280 x 1024 @ 75Hz 1152 x 870 @ 75Hz	1280 x 720 @ 60Hz 1280 x 800 @ 60Hz 1280 x1024 @ 60Hz 1400 x 1050 @ 60Hz 1600 x 1200 @ 60Hz 1440 x 900 @ 60Hz 1280 x 720 @ 120Hz 1024 x 768 @ 120Hz	ネーティブタイミング: XGA: 1024 x 768 @ 60Hz WXGA: 1280 x 800 @ 60Hz 1080P: 1920 x 1080 @ 60Hz
B1 / ビデオモード	B1 / 詳細タイミング:	
640 x 480p @ 60Hz 720 x 480p @ 60Hz 1280 x 720p @ 60Hz 1920 x 1080i @ 60Hz 720 (1440) x 480i @ 60Hz 1920 x 1080p @ 60Hz 720 x 576p @ 50Hz 1280 x 720p @ 50Hz 1920 x 1080i @ 50Hz 720(1440) x 576i @ 50Hz 1920 x 1080p @ 50Hz 1920 x 1080p @ 24Hz 1920 x 1080p @ 30Hz	720 x 480p @ 60Hz 1280 x 720p @ 60Hz 1366 x 768 @ 60Hz 1920 x 1080i @ 50Hz 1920 x 1080p @ 60Hz	

3D 入力ビデオ互換

<table>
<tr><th>入力解像度</th><th colspan="3">入力タイミング</th></tr>
<tr><td rowspan="8">HDMI 1.4a 3D 入力</td><td>1280 x 720p @ 50Hz</td><td colspan="2">最上部から底部まで</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 60Hz</td><td colspan="2">最上部から底部まで</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 50Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 60Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 50 Hz</td><td colspan="2">サイドバイサイド(ハーフ)</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60 Hz</td><td colspan="2">サイドバイサイド(ハーフ)</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080p @ 24 Hz</td><td colspan="2">最上部から底部まで</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080p @ 24 Hz</td><td colspan="2">フレームパッキング</td></tr>
<tr><td rowspan="9">HDMI 1.3 3D コンテンツ</td><td>1920 x 1080i @ 50Hz</td><td rowspan="4">サイドバイサイド(ハーフ)</td><td rowspan="4">3D 映像フォーマットが [Side By Side] の間</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 50Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 50Hz</td><td rowspan="4">最上部から底部まで</td><td rowspan="4">3D 映像フォーマットが [Top and Bottom] の間</td></tr>
<tr><td>1920 x 1080i @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 50Hz</td></tr>
<tr><td>1280 x 720p @ 60Hz</td></tr>
<tr><td>480i</td><td>HQFS</td><td>3D 映像フォーマットが [Frame Sequential] の間</td></tr>
</table>

天井への取り付け

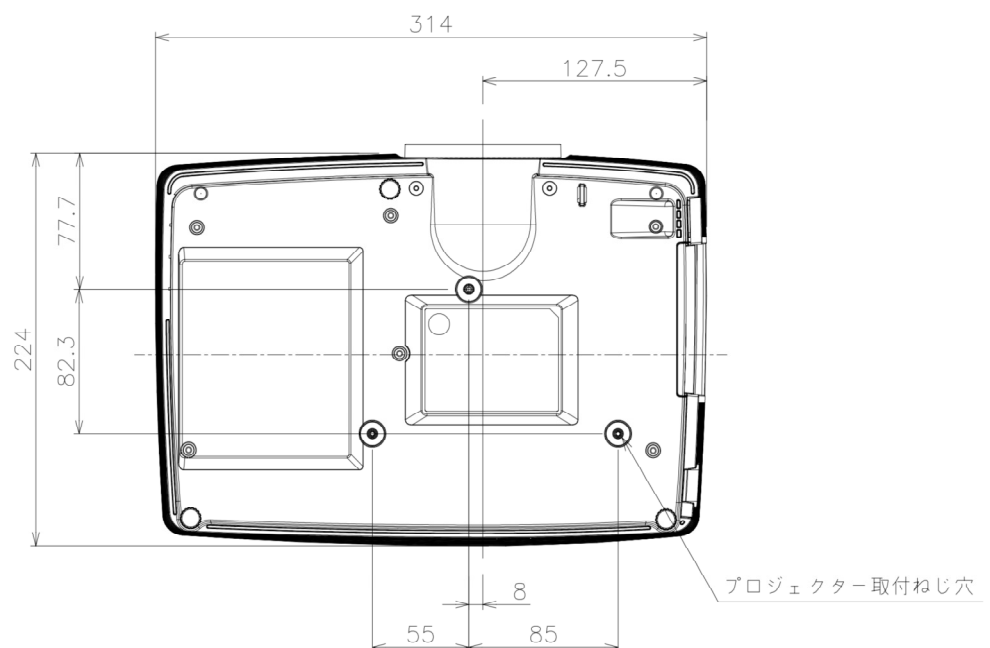
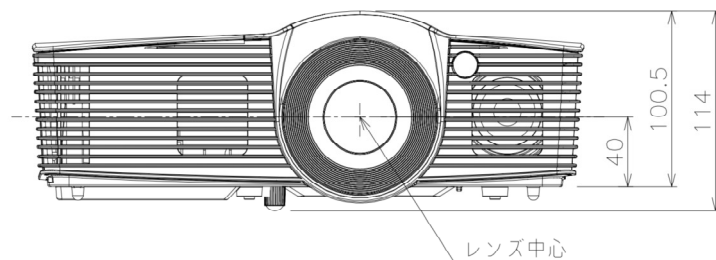
1. プロジェクタの損傷を防ぐため、必ずOptoma の天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクタを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してくださ い:
   - ネジの種類: M4*3
   - 最小ネジ長 : 10mm

❖ プロジェクタを正しく取り付けていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。

警告:

1. 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
2. プロジェクタの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
3. プロジェクタは、熱源の近くに設置しないで下さい。
4. 本体破損の原因となりますので、ネジの締付けは0.78N·m以上の締付けトルクで行わないでください。また、電動ドライバー、インパクトドライバーを使用しないでください 。

単位：mm

HDGT15Y06

Optoma社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

アメリカ

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

カナダ

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

中南米及びメキシコ

3178 Laurelview Ct.
Fremont, CA 94538, USA
www.optomausa.com

888-289-6786
510-897-8601
services@optoma.com

ヨーロッパ

42 Caxton Way, The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire,
WD18 8QZ, UK
www.optoma.eu
サービスダイヤル:
+44 (0)1923 691865

+44 (0) 1923 691 800
+44 (0) 1923 691 888
service@tsc-europe.com

Benelux BV

Randstad 22-123
1316 BW Almere
The Netherlands
www.optoma.nl

+31 (0) 36 820 0253
+31 (0) 36 548 9052

フランス

Bâtiment E
81-83 avenue Edouard Vaillant
92100 Boulogne Billancourt, France

+33 1 41 46 12 20
+33 1 41 46 94 35
savoptoma@optoma.fr

スペイン

C/ José Hierro,36 Of. 1C
28522 Rivas VaciaMadrid,
スペイン

+34 91 499 06 06
+34 91 670 08 32

ドイツ

Wiesenstrasse 21 W
D40549 Düsseldorf,
Germany

+49 (0) 211 506 6670
+49 (0) 211 506 66799
info@optoma.de

スカンディナビア

Lerpeveien 25
3040 Drammen
ノルウェー

+47 32 98 89 90
+47 32 98 89 99
info@optoma.no

PO.BOX 9515
3038 Drammen
ノルウェー

韓国

WOOMI TECH.CO.,LTD.
4F,Minu Bldg.33-14, Kangnam-Ku,
seoul,135-815, KOREA

+82+2+34430004
+82+2+34430005

日本

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエス
コンタクトセンター:0120-380-495

info@os-worldwide.com
www.os-worldwide.com

東京都足立区綾瀬3-25-18
株式会社オーエス プラスe
コンタクトセンター：0120-212-750

e.info@os-worldwide.com
http://jp.os-worldwide.com/os_plus_e/

台湾

12F., No.213, Sec. 3, Beixin Rd.,
Xindian Dist., New Taipei City 231,
Taiwan, R.O.C.
www.optoma.com.tw

+886-2-8911-8600
+886-2-8911-6550
services@optoma.com.tw
asia.optoma.com

香港

Unit A, 27/F Dragon Centre,
79 Wing Hong Street,
Cheung Sha Wan,
Kowloon, Hong Kong

+852-2396-8968
+852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,
Changning District
Shanghai, 200052, China

+86-21-62947376
+86-21-62947375
www.optoma.com.cn

規制と安全に関する通知

当付録はプロジェクタ総則の一覧です。

FCC通告

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されております。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください:

- ❖ 受信アンテナの再設定又は移動。
- ❖ 本装置と受信機の距離を離す。
- ❖ 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- ❖ 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

注意: シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

運転状況

本装置は、FCC15章に準拠しています。運転は、以下の2つの状況を前提とします:

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意: カナダにお住まいのユーザーへ

当クラスBデジタル機器は、カナダICES-003に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

EU諸国への適合宣言

- EMC 指令2004/108/EC (修正案を含む)
- 低電圧指令2006/95/EC
- R & TTE指令1999/5/EC (製品にRF機能が搭載されている場合)

廃棄物についての指示
当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルください。

保　　証　　書

1. 保証期間内であっても次の場合は有償修理となります。
(1) この保証書のご提示がない場合。
(2) 保証書に、ご購入の年月日、お客様名、お取扱店名の記入がない場合、および保証書の字句を書き換えられた場合。
(3) ご使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷。
(4) お買い上げ後の移動、輸送、落下等による故障および損傷。
(5) 火災や天災等による故障および損傷。
(6) 消耗品および付属品の交換の場合。
2. その他弊社が有償修理と判断した場合、実費を申し上げます。
■ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ取扱店名が記入されているかお確かめください。万一記入が無い場合は直ちにお買い上げ取扱店にお申し出ください。
※ この保証書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only Japan
3. ランプの保証期間は、購入、交換より6ヶ月使用あるいは1000時間の使用どちらか早く到達した時点までとなります。
※ 故障品の修理に要する当社までの運送費はお客様のご負担でお願いいたします。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、取扱店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

型　　式			
シリアル番号			
ご 購 入 日	年　　月　　日	保証期間	1年間

販売店